

男女共同参画に関する意識調査の結果について

深川市企画総務部企画財政課企画係

令和4年度

目 次

調査方法・回収結果	1
1 あなたご自身のことについて	
問1 性別	1
問2 年齢	2
問3 職業	3
問4 世帯構成	4
問5 就業状況	5
2 男女平等意識について	
問6 各分野における男女平等意識について	6～8
問7 政治・行政への女性の意見反映状況について	5
3 ワーク・ライフ・バランスについて	
問8 家事、育児の役割分担について	10～11
問9 介護の役割分担について	12～13
問10 男性の育児休業制度の利用について	14～15
問11 男性の介護休業制度の利用について	16～17
問12 女性が働きやすい状況にあるか	18
問13 女性が働きづらい、その要因について	19
問14 地域活動、社会活動などの参加状況について	20
問15 地域活動、社会活動などの参加するうえで支障となること	21
問16 ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要なこと	22
問17 生理用品の購入に苦労したことがあるか	23
問18 「生理の貧困」に関する支援について	24
4 人権について	
問19 ハラスメント・DVの経験について	25～26
問20 あらゆる差別や暴力をなくすために必要なこと	27
問21 LGBTQに対する考えやイメージについて	28～29
問22 LGBTQの理解をすすめるための対策について	30～31
問23 相談窓口の認知状況について	32
5 男女共同参画社会について	
問24 男女共同参画社会をすすめるために、深川市に望むこと	33
問25 自由回答	34～40

男女共同参画に関する意識調査 集計結果

調査方法

- 調査対象者 深川市民のうち18歳以上の男女1,000人
- 抽出方法 住民基本台帳に基づく男女別・年齢別割付による無作為抽出
- 調査期間 令和4年3月25日～4月15日
- 調査方法 調査票の郵送によるアンケート方式

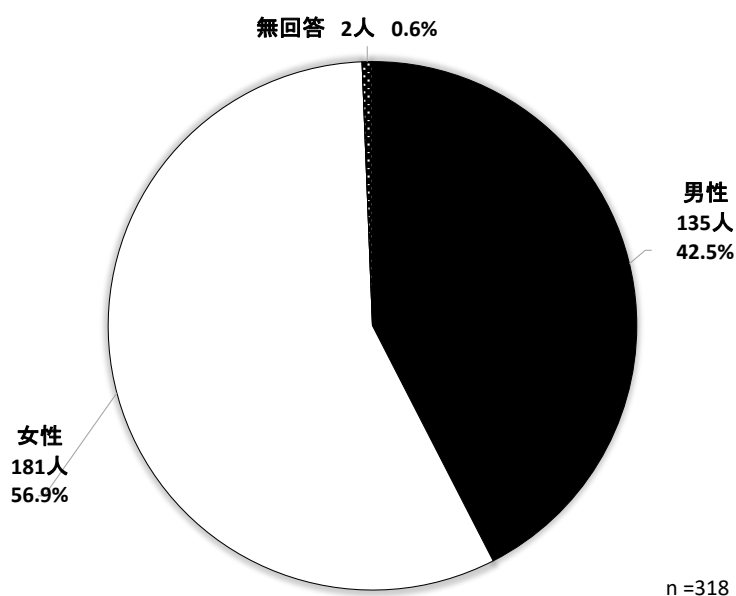
回収結果

- 標本数 発送数1,000人
戻り分4人
実質標本数996人
- 総回収数 318人
- 回収率 31.93% (=総回収率÷実質標本数)

1.あなたご自身のことについて(5項目)

問1:性別(記述回答)

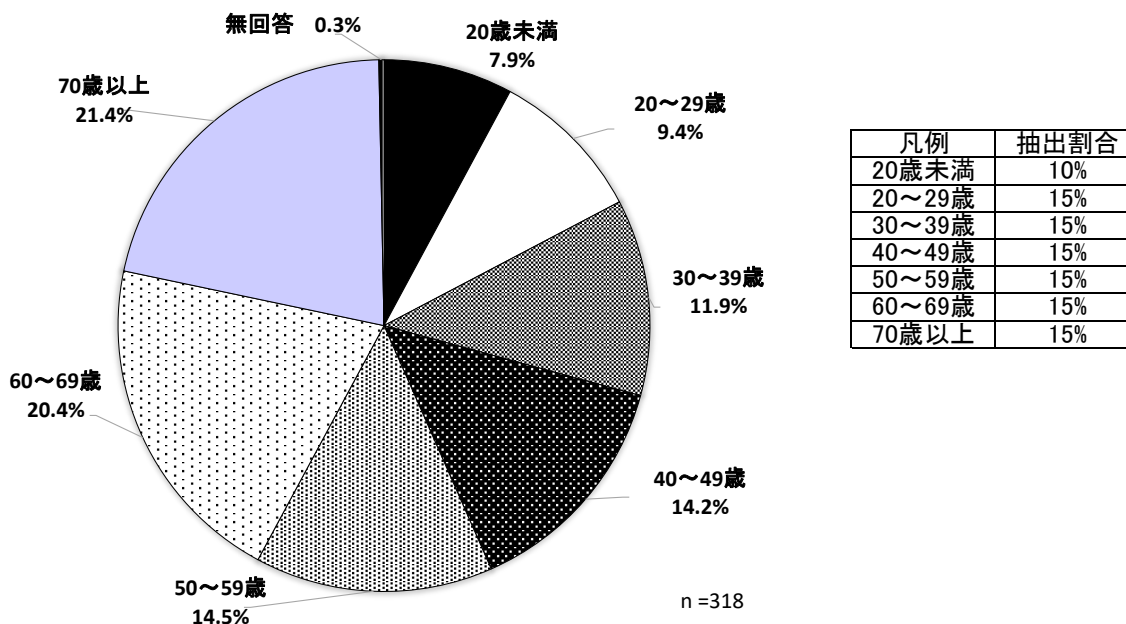
「男性」が135人で42.5%、「女性」が181人で56.9%となっており、女性の回答率の方が高い。また、「無回答」は2人で0.6%となっている。



凡例	抽出割合
男性	50%
女性	50%

問2:年齢

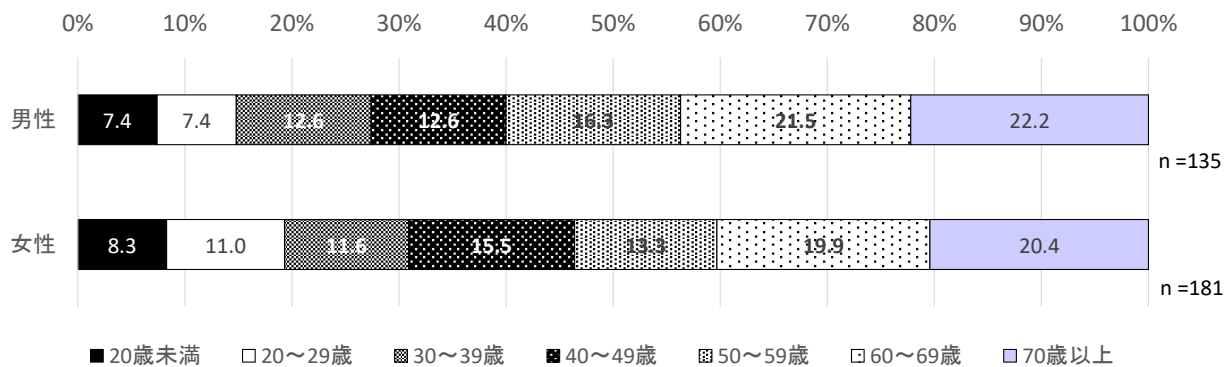
「70歳以上」が21.4%と最も多く、次いで「60～69歳」が20.4%となっており、60歳代以上で全体の4割以上を占めている。



◆男女別の回答率

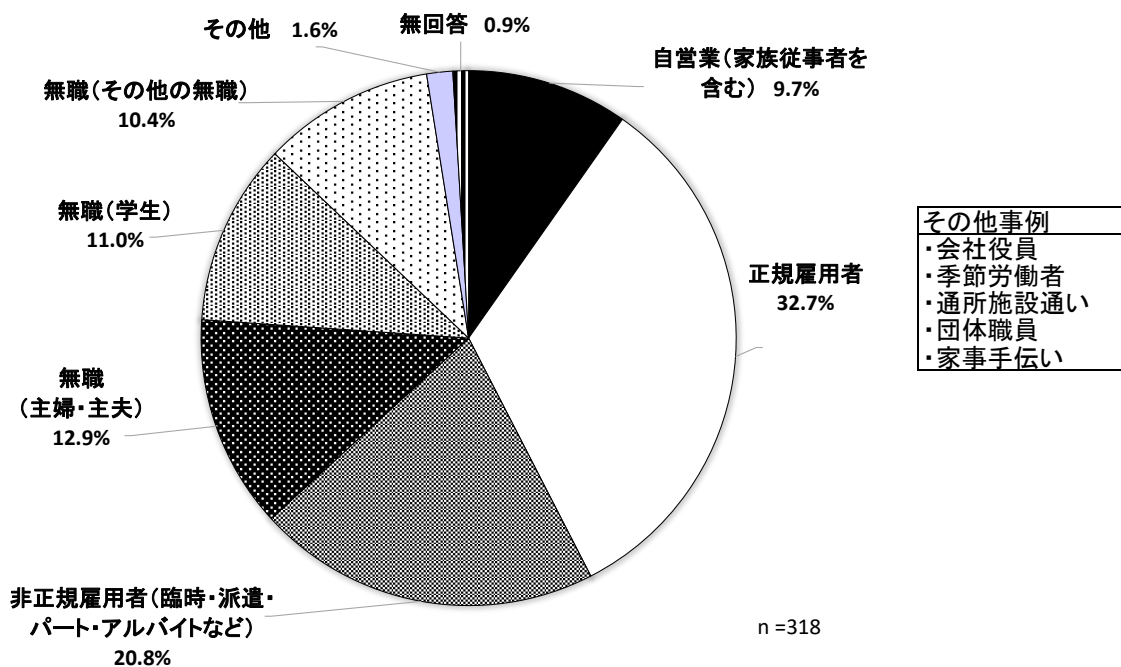
男女とも「70歳以上」が最も多く、次いで「60～69歳」となっている。全体では男性は50歳代以上が60%、女性で50%以上を占めている。

また、回答者は50歳以上の高年齢層だと男性の割合が多く、「20歳未満」「20～29歳」の若い世代では女性が多くなっている。



問3:職業

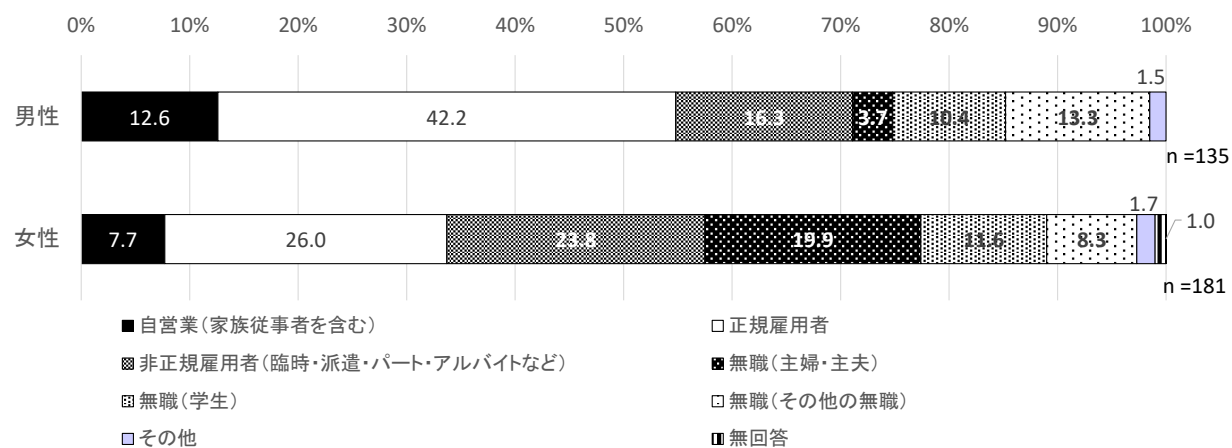
「正規雇用者」が32.7%と最も高く、次いで「非正規雇用者」の20.8%、「無職(主婦・主夫)」の12.9%となっている。



◆男女別の回答率

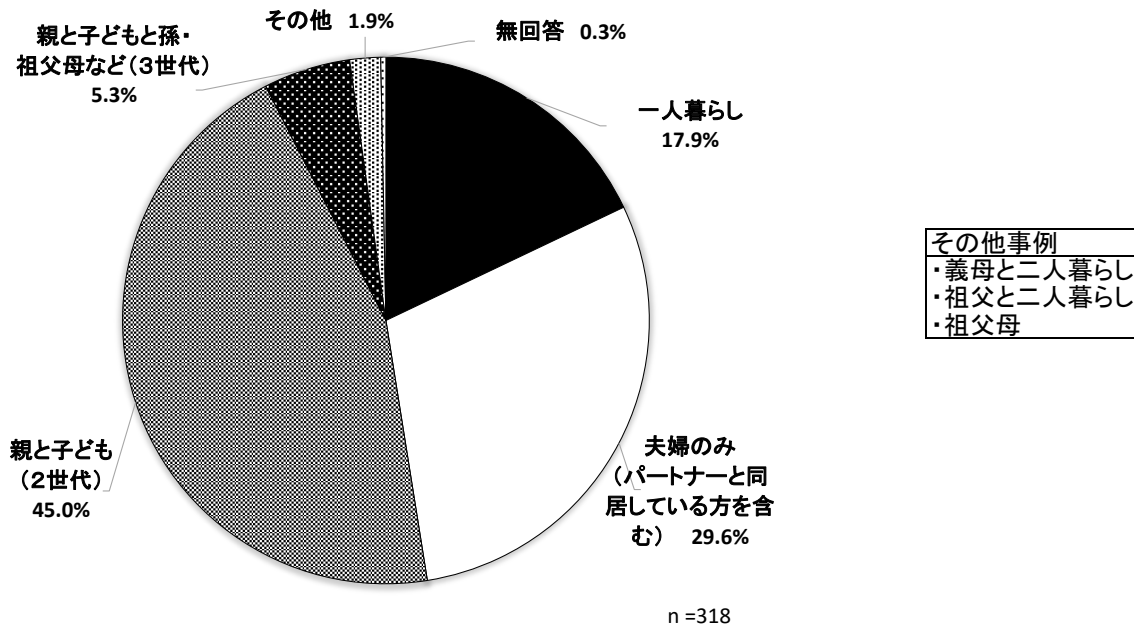
男女とも「正規雇用者」が最も高く、特に男性は42.2%と4割以上を占めている。女性は26.0%と4分の1以上を占めているが、「非正規雇用」の割合も高く、「正規雇用」と拮抗している。

また、「無職(主婦・主夫)」は、男性がわずか3.7%に対して、女性は男性の5倍以上の19.9%と、女性全体の約5分の1を占めている。



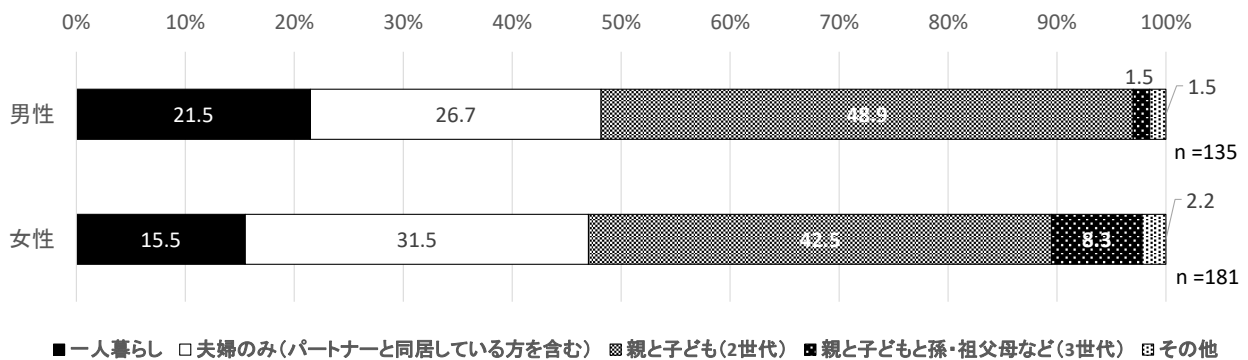
問4: 世帯構成

「親と子ども(2世代)」が45.0%と最も高く、半数近くを占めている。次いで「夫婦のみ」の29.6%、「一人暮らし」の17.9%となっている。



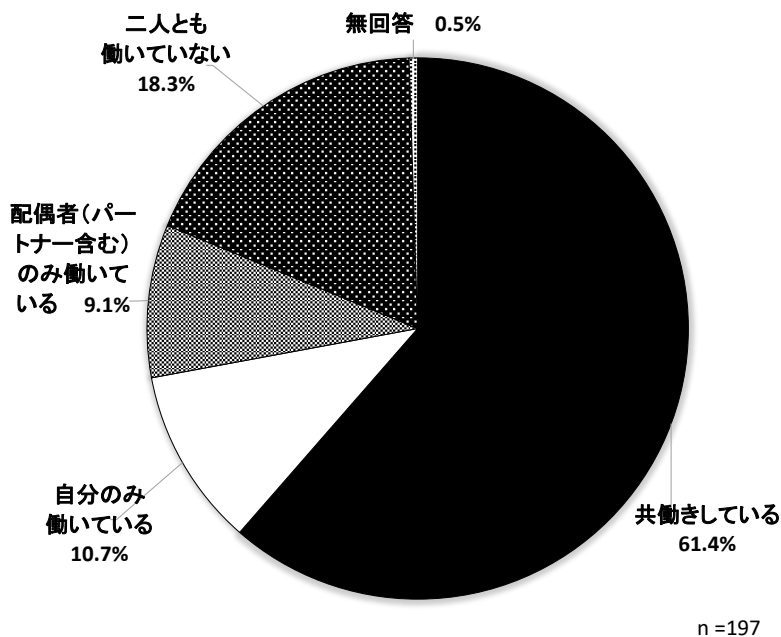
◆男女別の回答率

「親と子どもと孫・祖父母など(3世代)」と回答した女性は8.3%で、男性の5倍以上となっている。



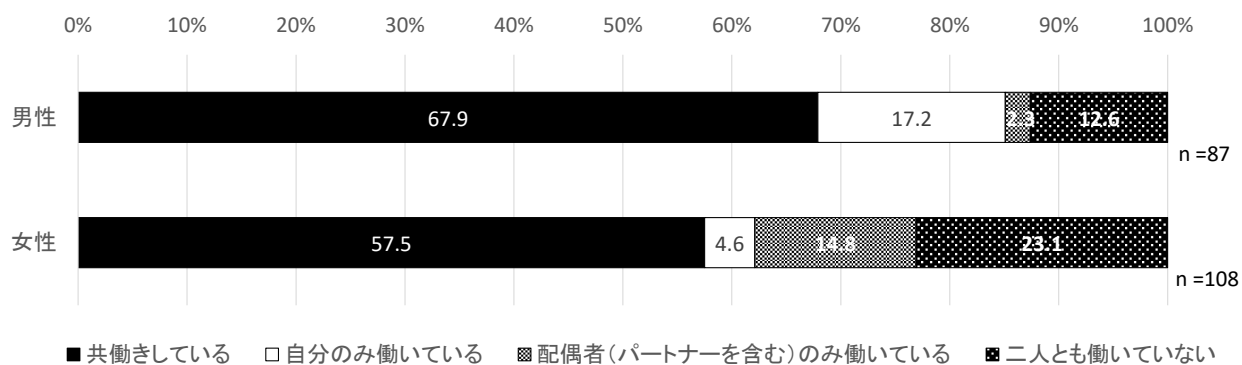
問5:就業状況(結婚している(パートナー含む)方のみ回答

「共働き」が61.4%と最も高く、半数以上を占めている。次いで「二人とも働いていない」の18.3%となっている。



◆男女別の回答率

「配偶者のみ働いている」女性の割合は14.8%で、男性の6倍以上となっており、同時に「自分のみ働いている」男性は17.2%で、女性の4倍弱となっている。



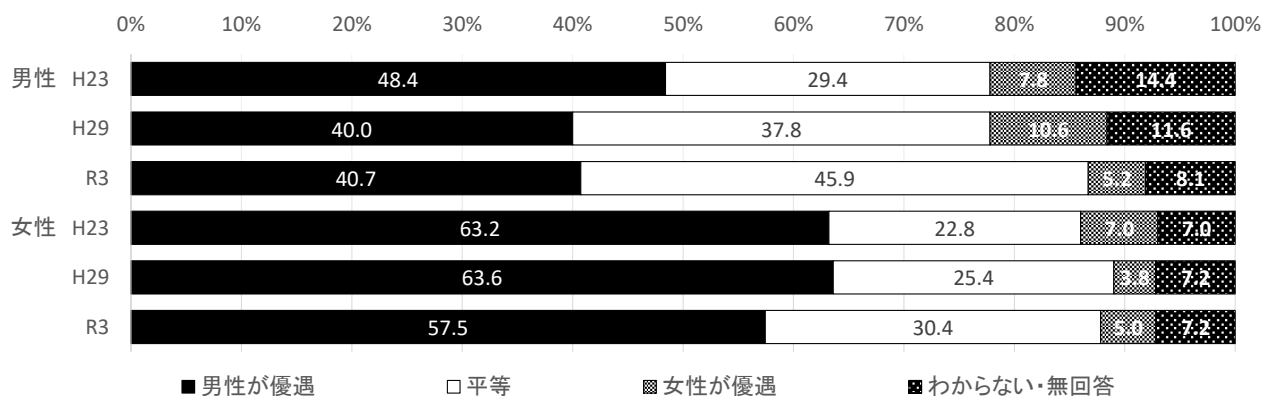
2.男女平等意識について(2項目)

問6:各分野における男女平等意識について

①家庭生活の中で

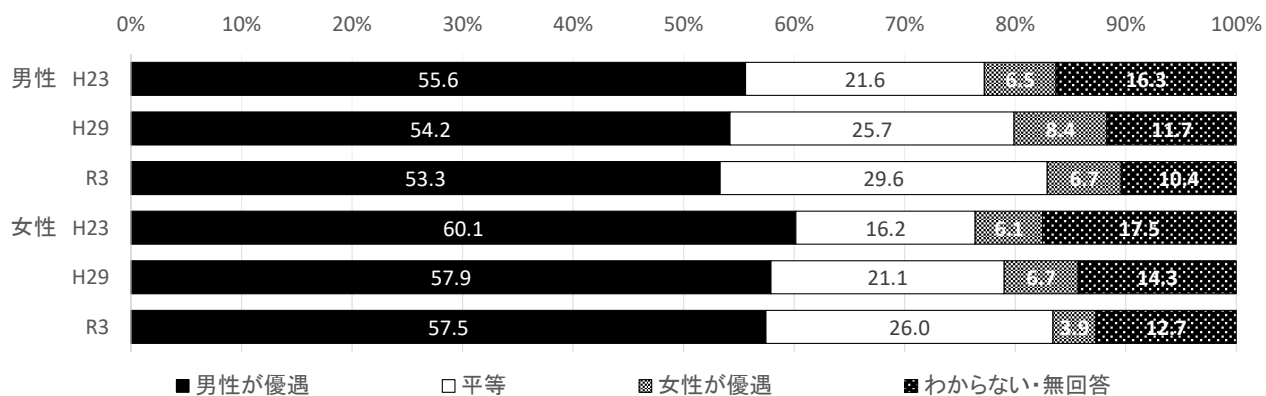
以前の調査と比べて、「平等」は男女ともに増加しているが、男性は「平等」が45.9%と最も高いのに対し、女性は30.4%にとどまる。

また女性では、以前より減少しているものの「男性の方が優遇されている」との回答が57.5%と最も高く、男性は40.7%にとどまる。



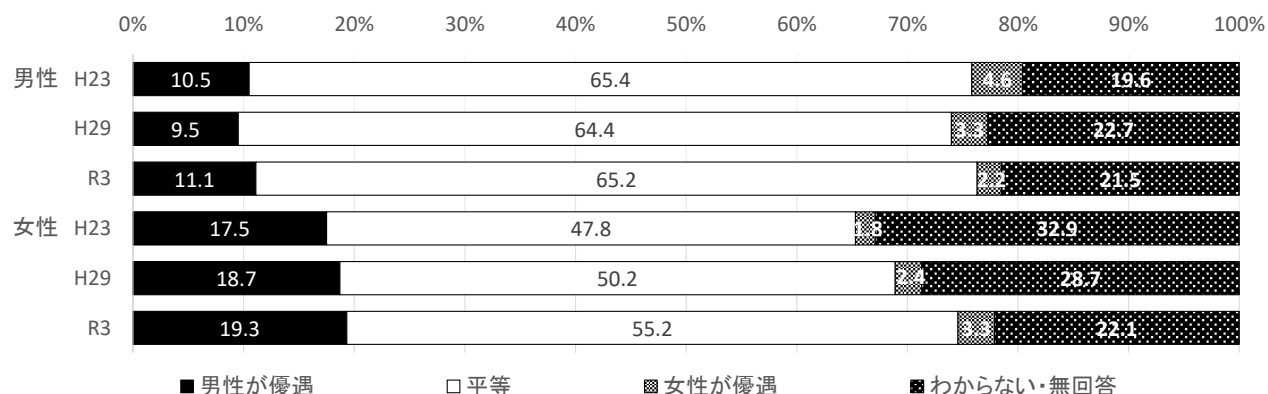
②職場の中で

以前の調査と比べて、「平等」は男性29.6%、女性26.0%と男女ともに増加し、反対に「男性の方が優遇されている」は、前回の調査より微減しているものの、男性53.3%、女性57.5%と、なお半数を超えている。



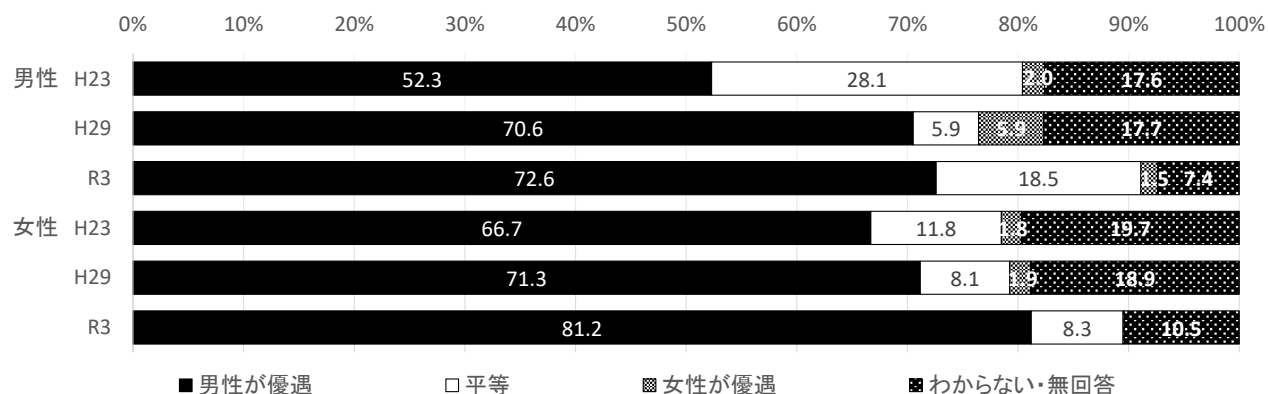
③学校教育の場で

以前の調査と比べて、「平等」は男女ともに増加しており、半数以上を占めているが、「男性の方が優遇されている」も増加しており、男性が11.1%に対し、女性19.3%と特に女性で高くなっている。



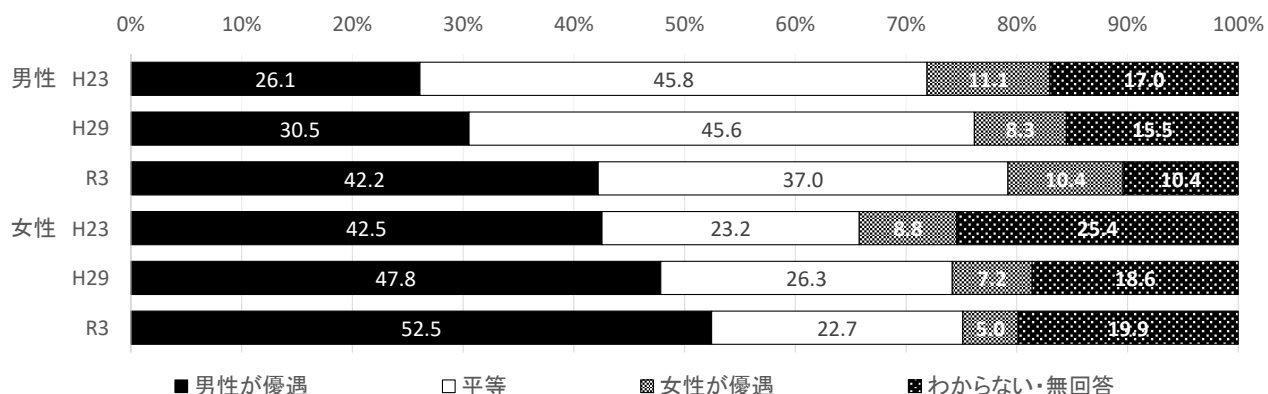
④政治の場で

以前の調査と比べて、「男性の方が優遇されている」は男女ともにさらに増加し、特に女性では81.2%と、8割を超えている。また、「平等」も男女とも増加しているが、特に男性で前回5.9%から今回18.5%と、前回調査より大幅に増加している。



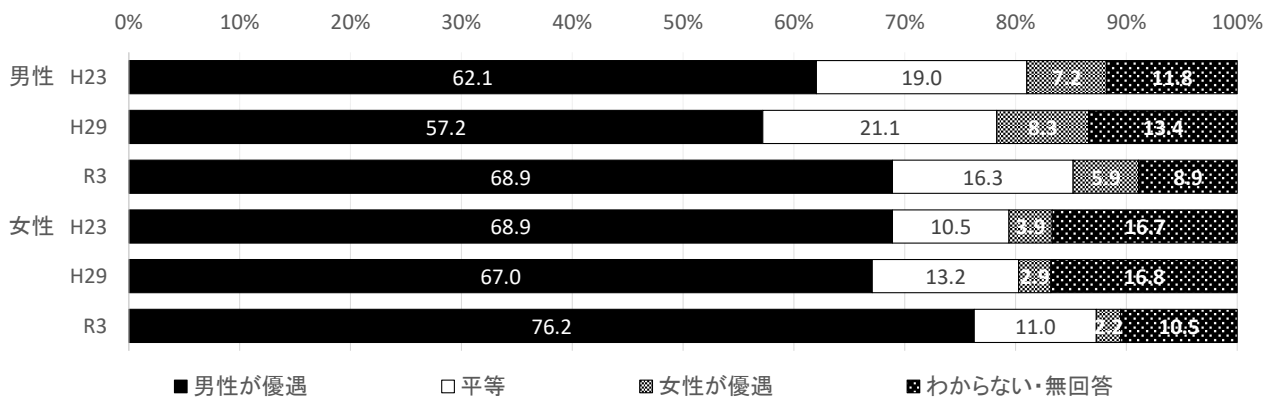
⑤法律や制度のうえで

以前の調査と比べて、「男性の方が優遇されている」が、男女ともにさらに増加し、特に女性では52.5%と半数を超えている。それに伴い、「平等」の割合は男女ともに減少している。



⑥社会通念・慣習などで

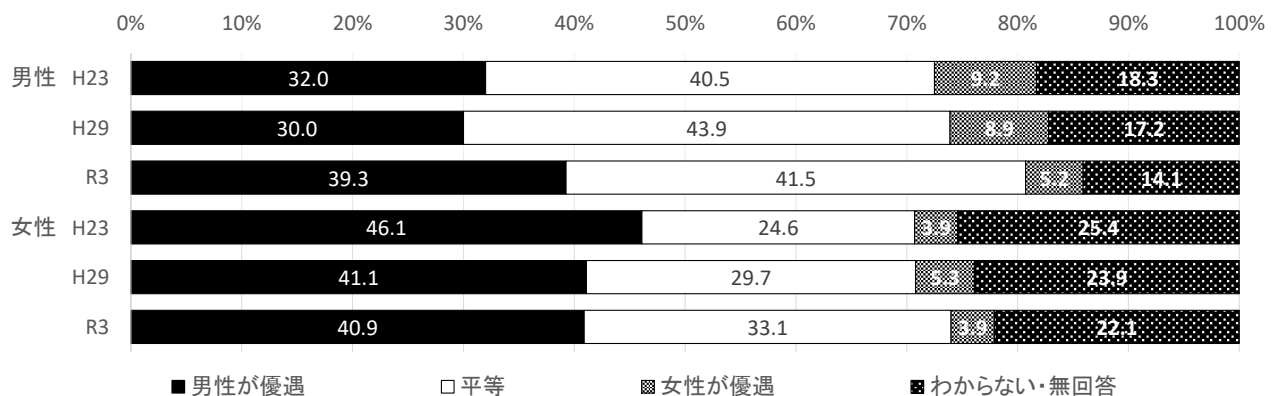
前回の調査では減少していた「男性の方が優遇されている」の割合が、男性が前回57.2%から今回68.9%、女性は前回67.0%から今回76.2%と増加しており、特に女性では7割を超えている。また、「平等」や「女性の方が優遇されている」の割合は男女ともに減少している。



⑦町内会やNPOなど地域活動の場で

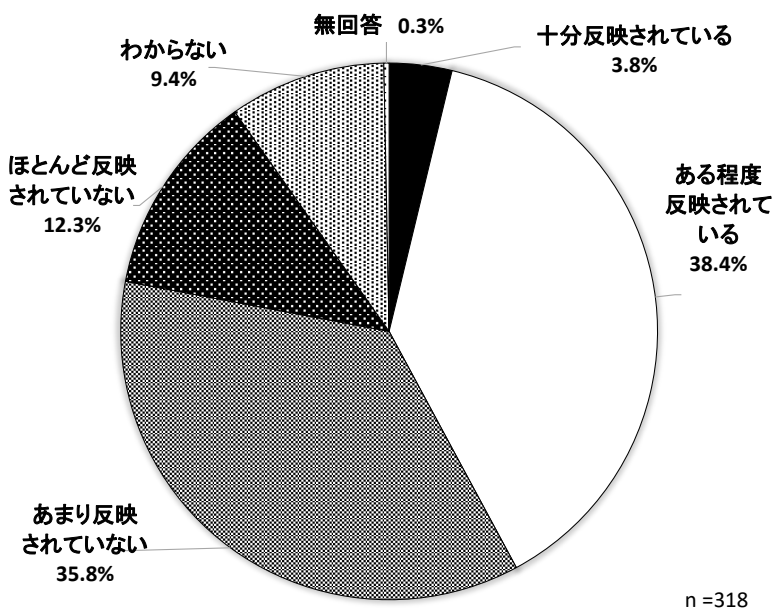
前回の調査と比べて、男性は「男性の方が優遇されている」が前回30.0%から今回39.3%に増加している。

女性は「平等」が前回29.7%から今回33.1%に増加しているが、「平等」の割合は男性より女性の方が低い状況が続いている。



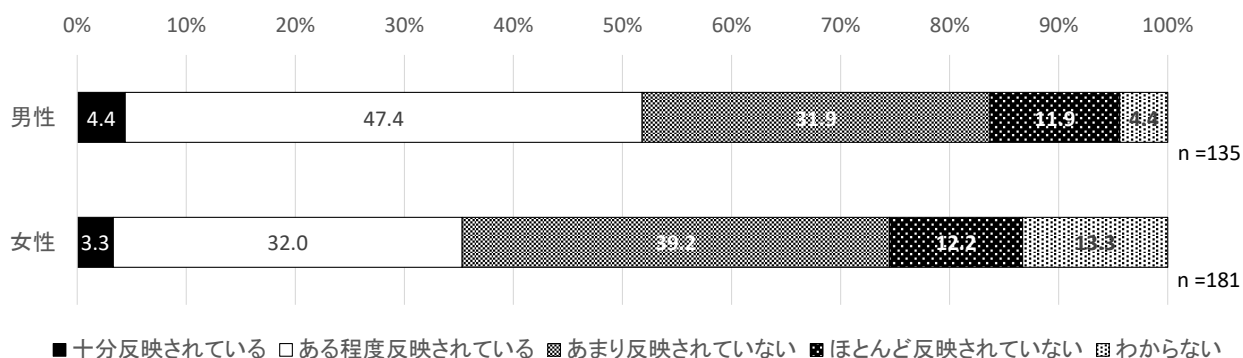
問7: 政治・行政への女性の意見反映状況について

「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」とした人が合わせて48.1%に対し、「十分反映されている」「ある程度反映されている」とした人は合わせて42.2%となっており、女性の意見の反映がなされていないと考えている人の方が多くなっている。



◆男女別の回答率

「十分反映されている」「ある程度反映されている」と回答した男性は51.8%と半数以上なのに対し、女性は35.3%と低く、反対に「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」と回答した女性は51.4%と半数以上に達している。



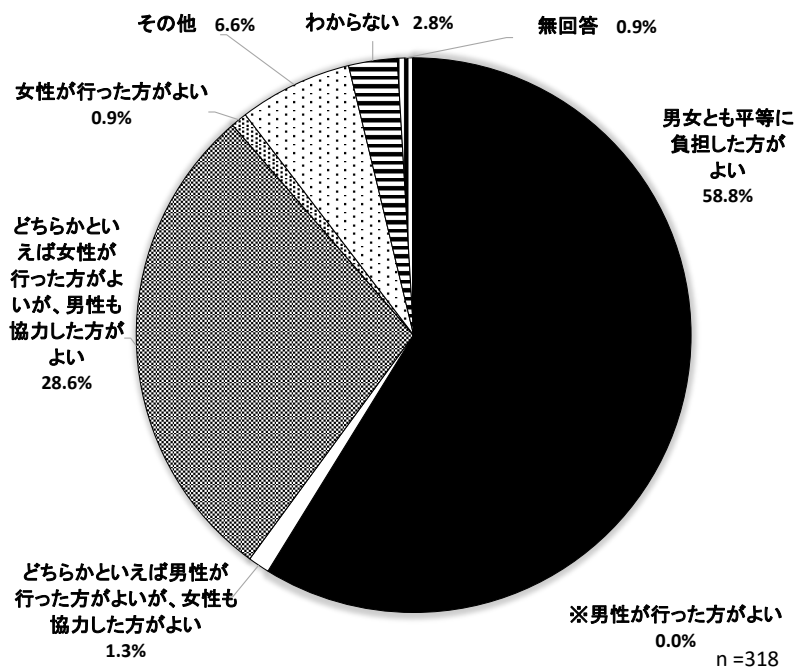
3.ワーク・ライフ・バランスについて(11項目)

問8:家事、育児の役割分担について

「男女とも平等に負担した方がよい」が58.8%と最も多く、半数以上を占めている。次いで「どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい」が28.6%となっている。

また、「男性が行った方がよい」との回答は無かった。

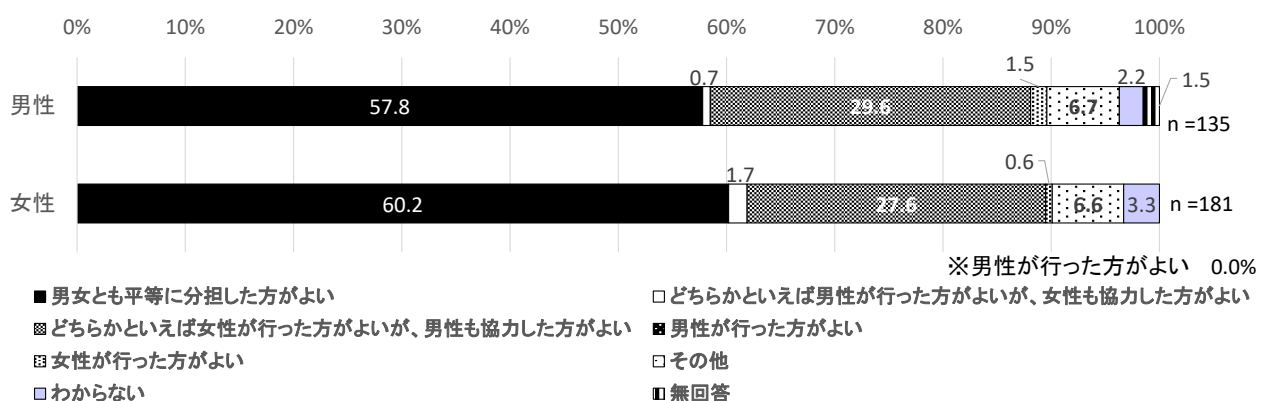
「その他」では、話し合う、協力して行う、性別に依るべきでない、などの意見があった。



◆男女別の回答率

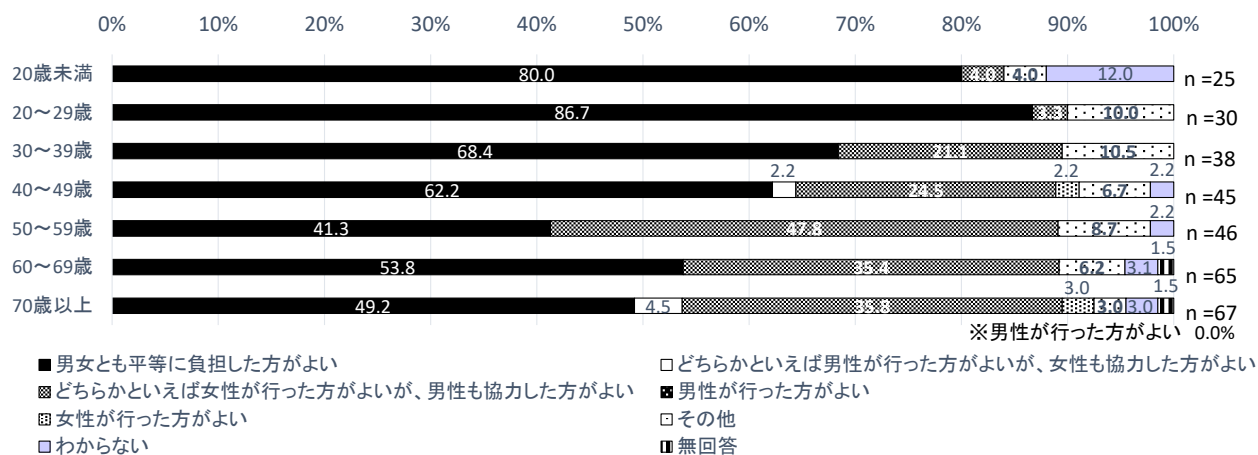
「男女とも平等に負担した方がよい」と回答した人が男女ともに半数以上を占めているが、女性は60.2%と男性より若干高くなっている。

また、「どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい」と回答した人は男性が29.6%と女性より若干高かった。



◆年代別の回答率

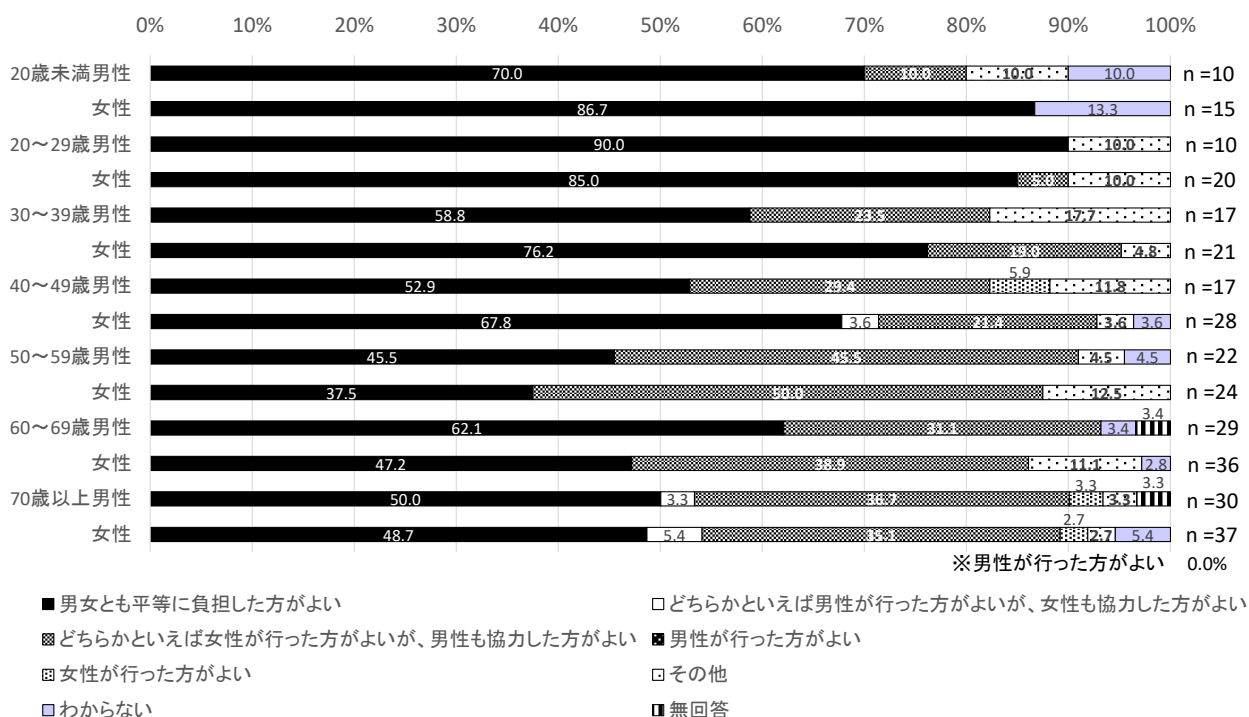
「男女とも平等に負担した方がよい」と回答している年代は「20～29歳」で86.7%と最も高く、次いで「20歳未満」80.0%と、若い年代で特に高くなっている。反対に「50～59歳」は41.3%と最も低く、「70歳以上」は49.2%、「60～69歳」は53.8%と、全体的に年齢層が上がるにつれて低くなっている。



◆男女年代別の回答率

「男女とも平等に負担した方がよい」が最も高いのは「20～29歳男性」で90.0%、次いで「20歳未満女性」86.7%、「20～29歳女性」85.0%となっている。

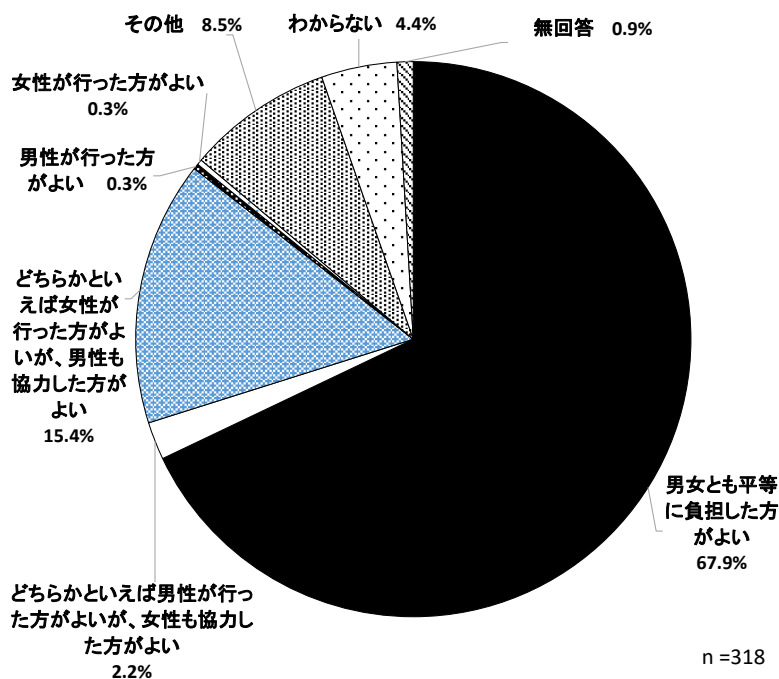
「どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい」では最も高いのは「50～59歳女性」の50.0%、次いで「50～59歳男性」の45.5%となっている。



問9:介護の役割分担について

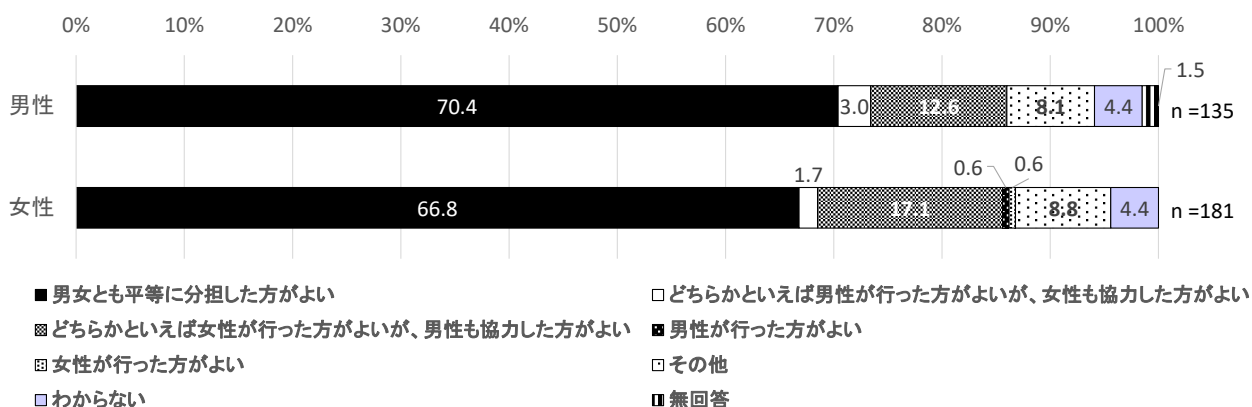
「男女とも平等に負担した方がよい」が67.9%と最も多く、6割以上を占めている。次いで「どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい」が15.4%となっている。

「その他」では、介護施設、同性が行う、性別に依るべきでない、ヘルパー依頼など第三者の協力が必要、などの意見があった。



◆男女別の回答率

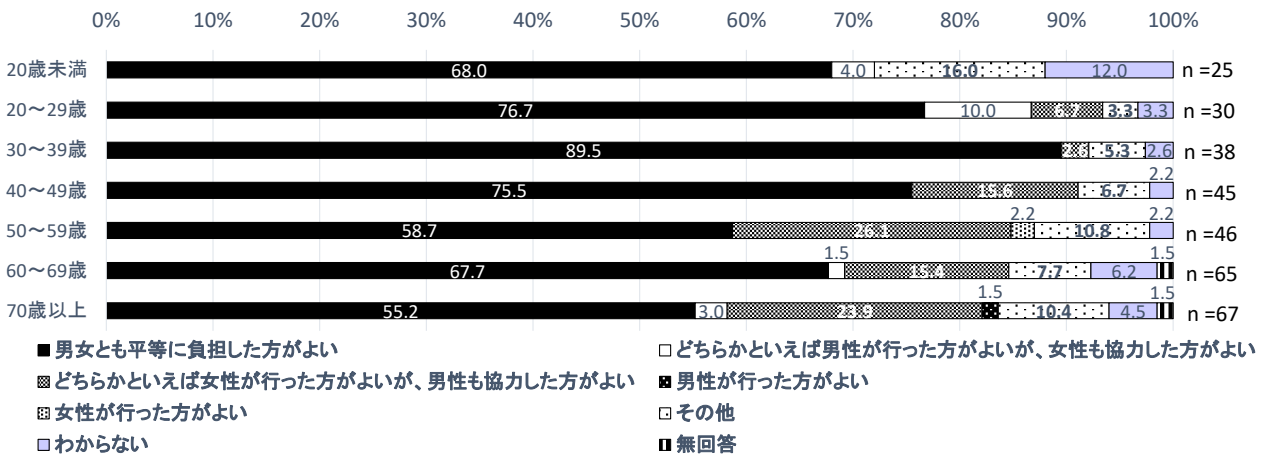
「男女とも平等に負担した方がよい」が男性70.4%、女性66.8%となっており、男女とも6割以上を占めている。「どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい」が男性12.6%、女性17.1%で、女性の方が高かった。



◆年代別の回答率

「男女とも平等に負担した方がよい」と回答している年代は「30～39歳」が89.5%と最も高く、次いで「20～29歳」76.7%と若い世代で高くなっている。

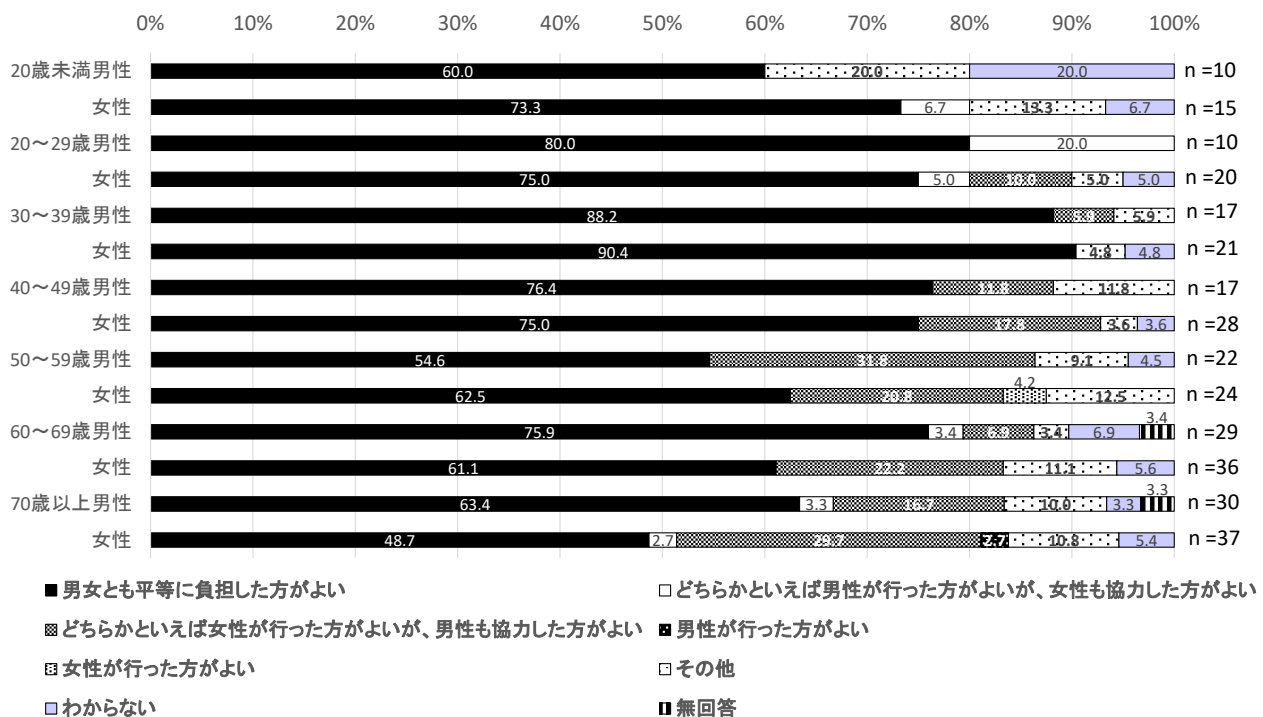
反対に「70歳以上」は55.2%と最も低く、「50～59歳」は58.7%、「60～69歳」は67.7%と全体的に高年齢層で低くなっている。



◆男女年代別の回答率

「男女とも平等に負担した方がよい」が最も高いのは「30～39歳女性」で90.4%、次いで「30～39歳男性」88.2%、「20～29歳男性」80.0%となっている。

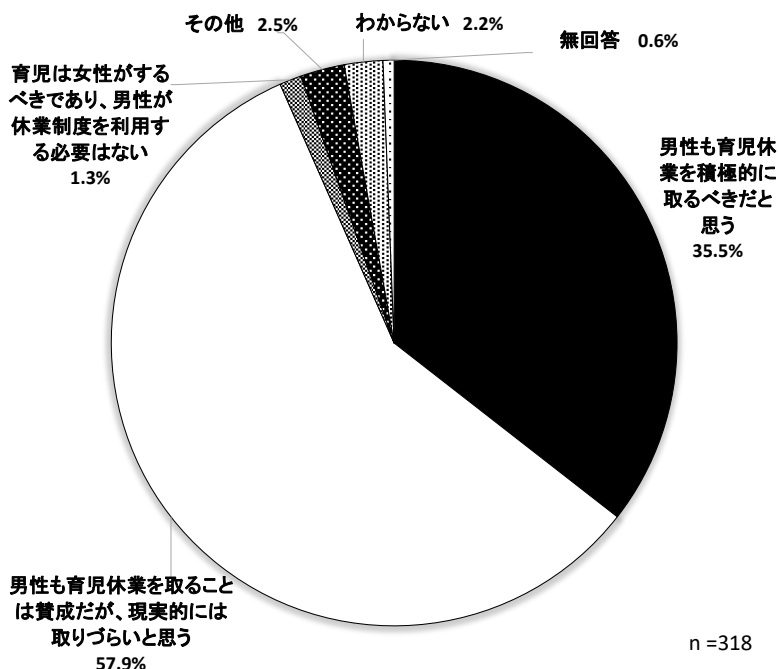
「どちらかといえば女性が行った方がよいが、男性も協力した方がよい」では最も高いのは「50～59歳男性」の31.8%、次いで「70歳以上女性」の29.7%となっている。



問10: 男性の育児休業制度の利用について

「男性も育児休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が57.9%と最も多く、次いで「男性も育児休暇を積極的に取るべきだと思う」が35.5%となっており、男性の育児休暇を肯定的に捉えている人は合わせて93.4%と、9割を超えている。

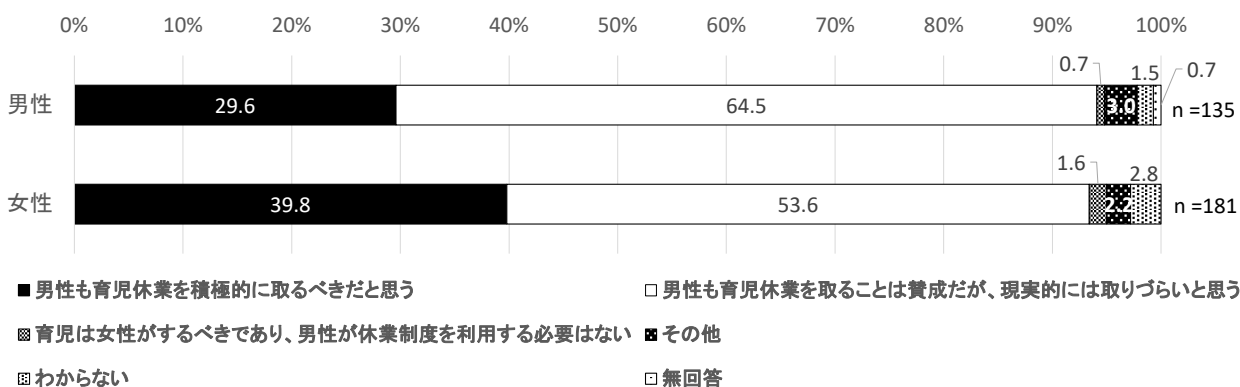
「その他」では、夫婦間で相談、公共のサービスや環境の充実が必要などの意見があった。



◆男女別の回答率

「男性も育児休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が男性64.5%、女性53.6%で、男性の方が高く、「男性も育児休暇を積極的に取るべきだと思う」は、男性29.6%、女性39.8%と、女性の方が高かった。

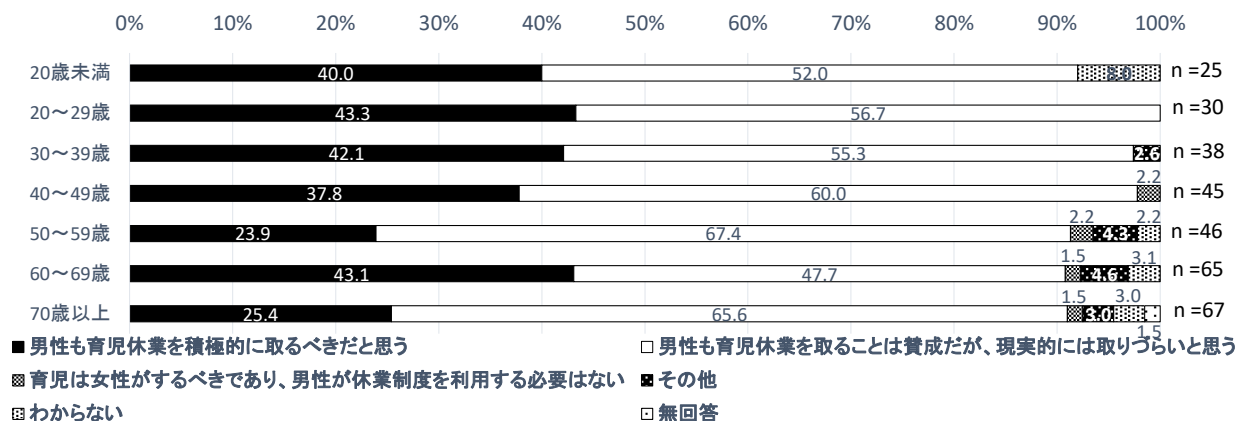
合わせると男性94.1%、女性93.4%となり、男性の育児休暇を肯定的に捉えているという点では、男女間で差はなかった。



◆年代別の回答率

「男性も育児休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」と回答している年代は「50～59歳」が67.4%と最も高く、次いで「70歳以上」65.6%となっている。

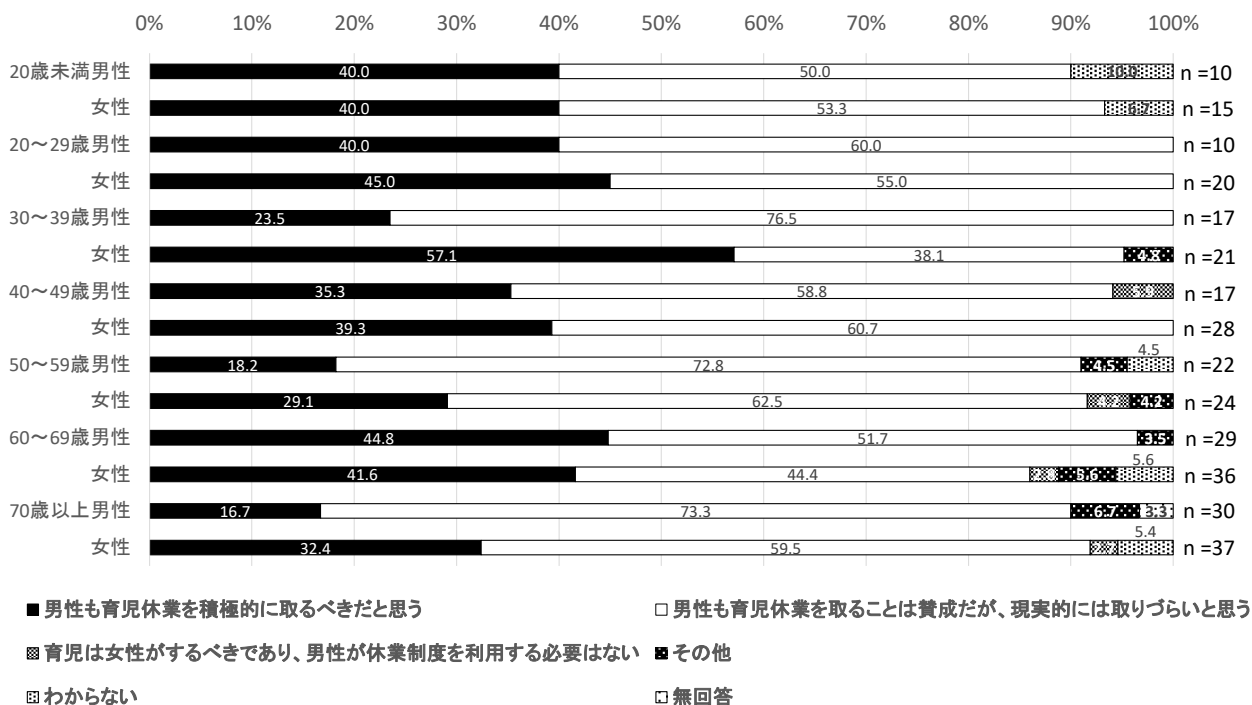
「男性も育児休暇を積極的に取るべきだと思う」は、「20～29歳」が43.3%、次いで「60～69歳」43.1%、「30～39歳」42.1%となっている。



◆男女年代別の回答率

「男性も育児休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高いのは「30～39歳男性」で76.5%、次いで「70歳以上男性」73.3%、「50～59歳男性」72.8%となっており、年代に関わらず、男性の方が育児休暇を取りづらいと感じている割合が高いことがわかった。

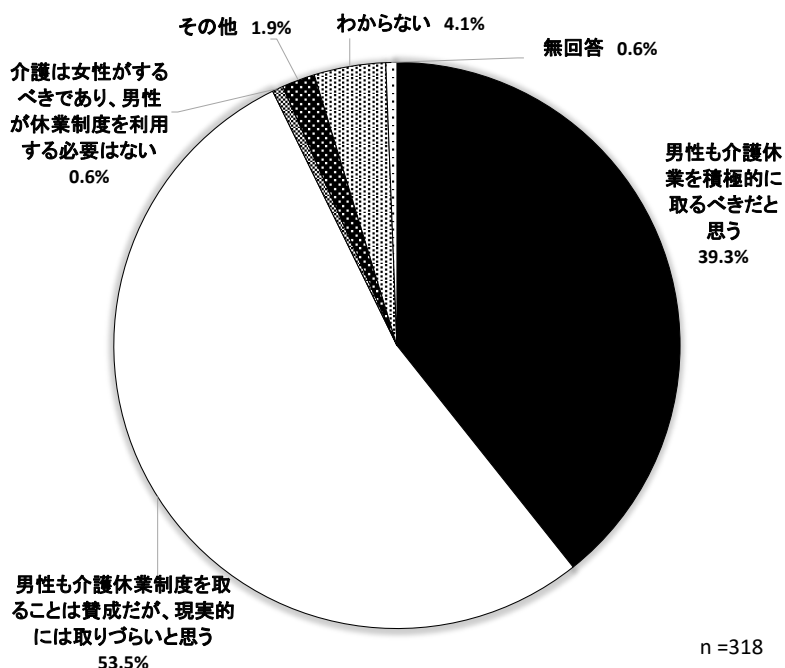
また、「男性も育児休暇を積極的に取るべきだと思う」では最も高いのは「30～39歳女性」の57.1%、次いで「20～29歳女性」の45.0%となっている。



問11: 男性の介護休業制度の利用について

「男性も介護休業制度を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が53.5%と最も多く、次いで「男性も介護休業を積極的に取るべきだと思う」が39.3%となっており、男性の介護休業を肯定的に捉えている人は合わせて92.8%と、9割を超えている。

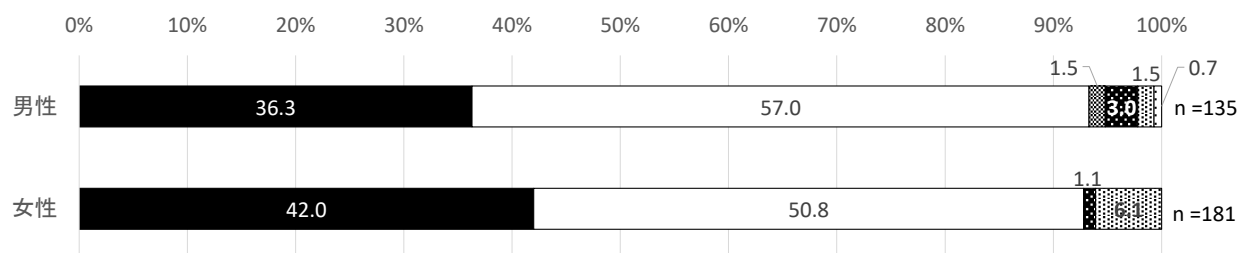
「その他」では、夫婦間で相談、プロに任せる、制度や環境の充実が必要などの意見があった。



◆男女別の回答率

「男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が男性57.0%、女性50.8%となっており、男性の方が高かった。「男性も介護休業を積極的に取るべきだと思う」は、男性36.3%、女性42.0%となっており、女性の方が高かった。

合わせると男性93.3%、女性92.8%で、男性の介護休業を肯定的に捉えているという点においては、男女間で差はなかった。

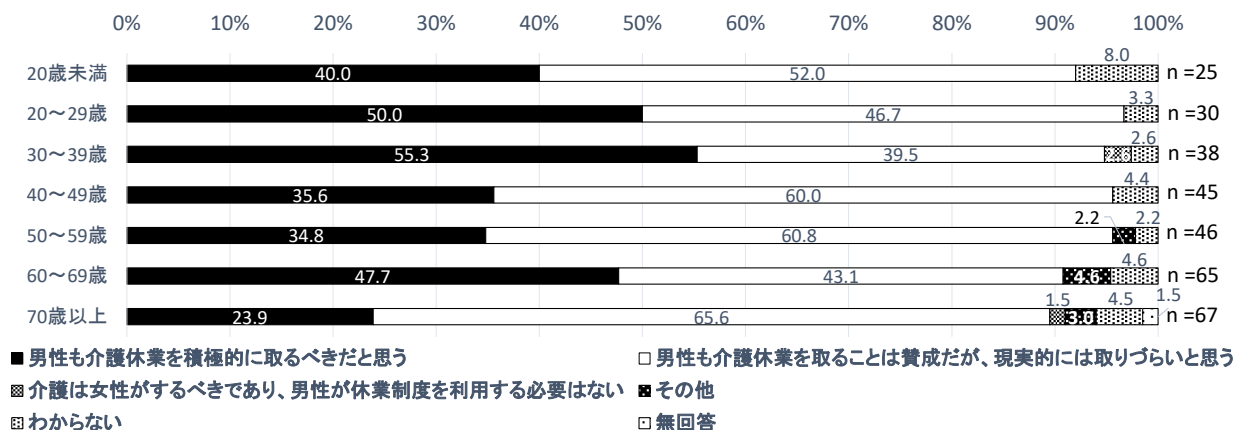


- 男性も介護休業を積極的に取るべきだと思う
- 男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う
- ▨ 介護は女性がすべきであり、男性が休業制度を利用する必要はない
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

◆年代別の回答率

「男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」と回答している年代は「70歳以上」が65.6%と最も高く、次いで「50～59歳」60.8%となっている。

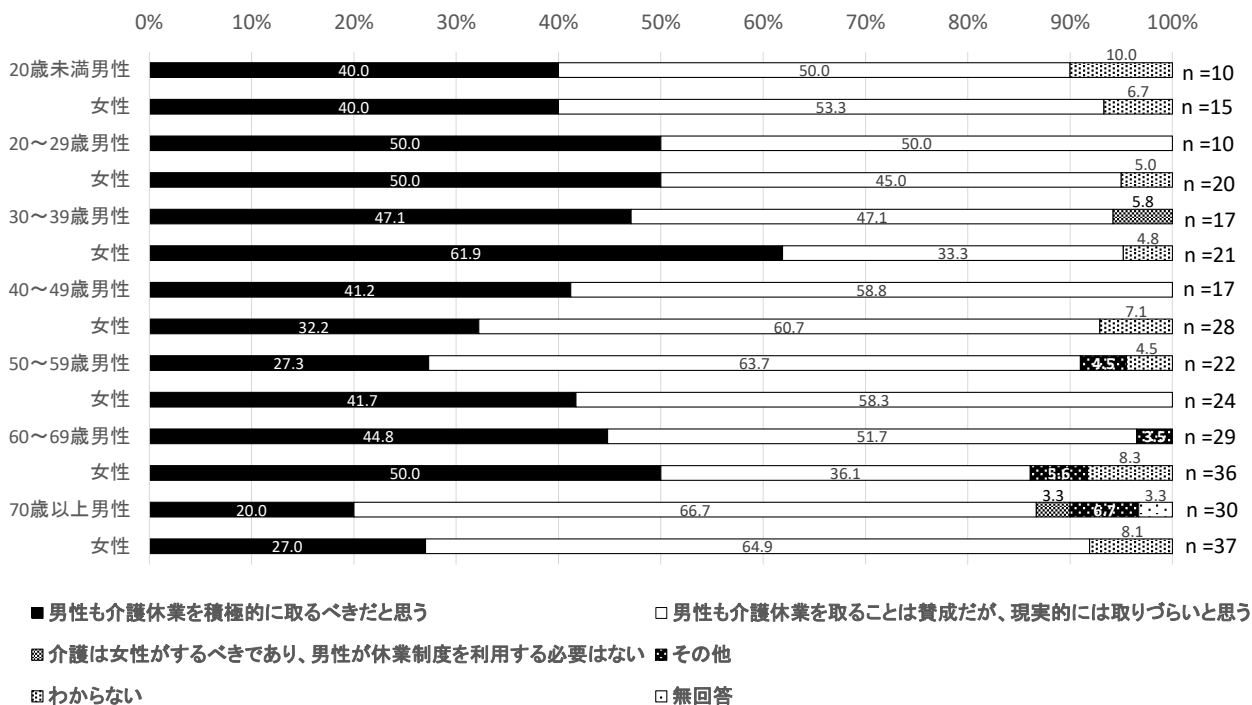
「男性も介護休業を積極的に取るべきだと思う」は、「30～39歳」が55.3%、次いで「20～29歳」50.0%、「60～69歳」47.7%となっている。



◆男女年代別の回答率

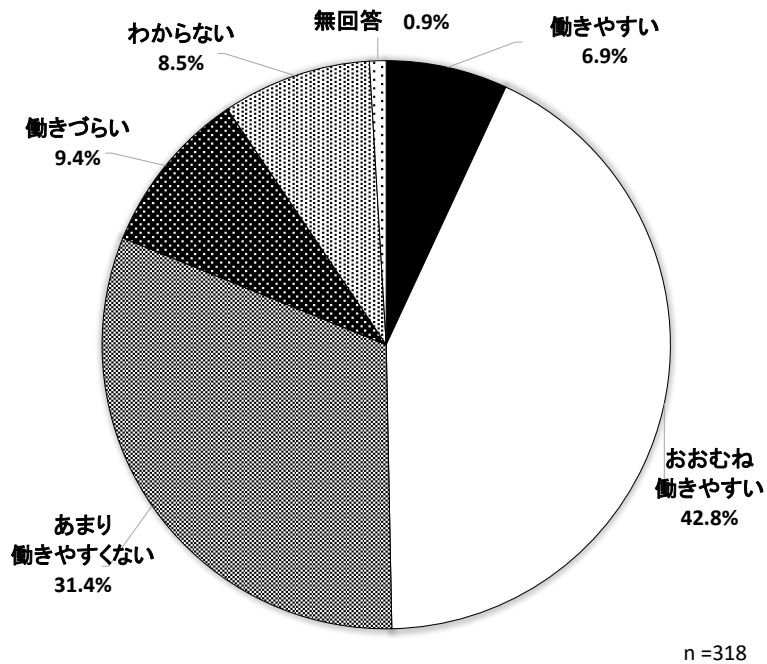
「男性も介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高いのは「70歳以上男性」で66.7%、次いで「70歳以上女性」64.9%、「50～59歳男性」63.7%となっている。

また、「男性も介護休業を積極的に取るべきだと思う」では最も高いのは「30～39歳女性」の61.9%、次いで「20～29歳男性」「20～29歳女性」「60～69歳女性」で50.0%となっている。



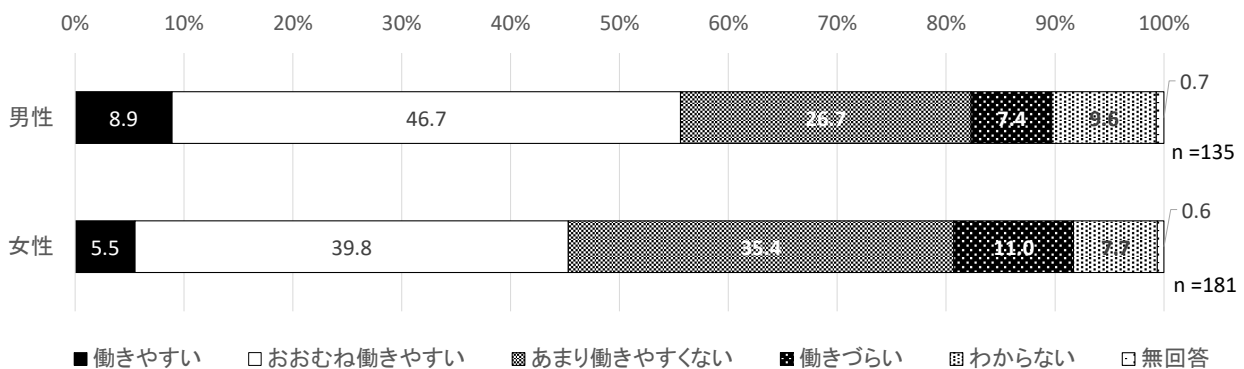
問12: 女性が働きやすい状況にあるか

「おおむね働きやすい」「働きやすい」が合わせて49.7%と半数近くを占めたものの、「あまり働きやすくない」「働きづらい」も、合わせて40.8%と4割を超え、拮抗している。



◆男女別の回答率

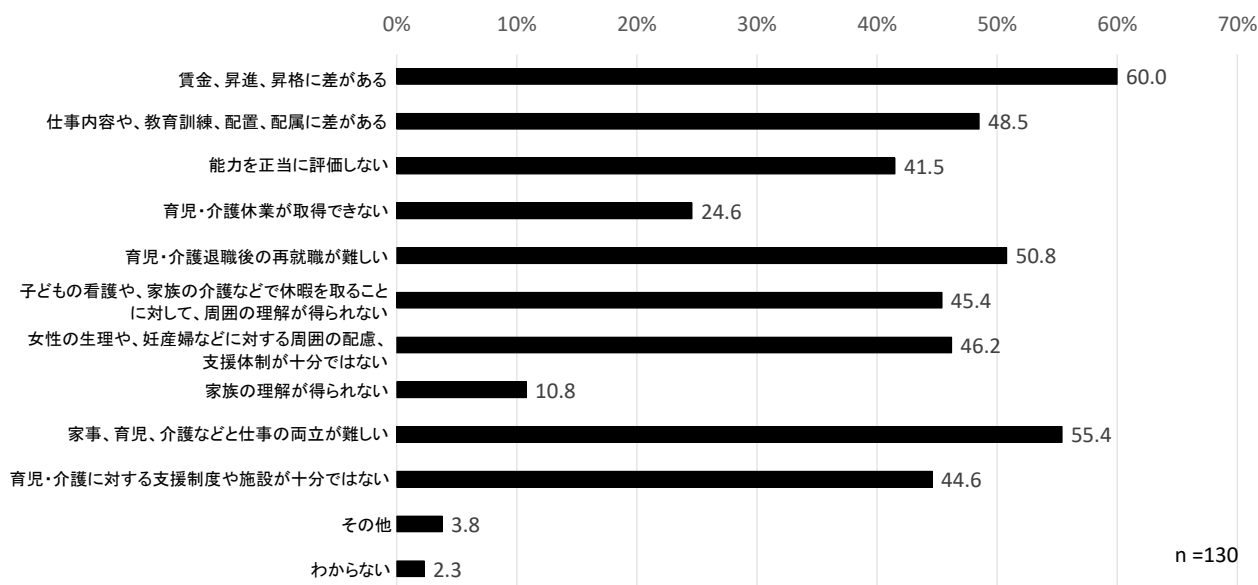
「おおむね働きやすい」「働きやすい」と回答した男性は合わせて55.6%、女性は45.3%となっている。「あまり働きやすくない」「働きづらい」と回答した男性は合わせて34.1%、女性は46.4%となっており、女性の方が男性より「女性が働きやすい状況にない」と考えている割合が高かった。



問13:女性が働きづらい、その要因について(該当するもの全てに○)
 (※問12で「あまり働きやすい」「働きづらい」とした回答者対象)

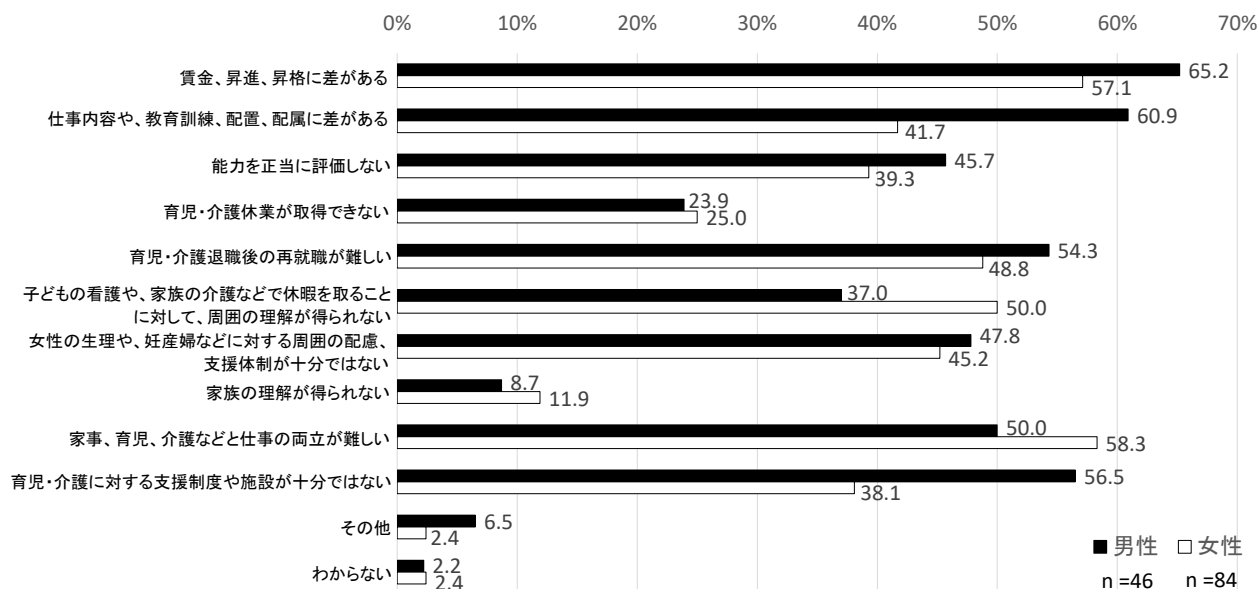
「賃金、昇進、昇格に差がある」が60.0%と最も高く、次いで「家事、育児、介護などと仕事の両立が難しい」55.4%、「育児・介護退職後の再就職が難しい」50.8%となっている。

「その他」では、育児をしている時期に合う就職先がない、日本独特の男尊女卑感がまだまだある、などの意見があった。



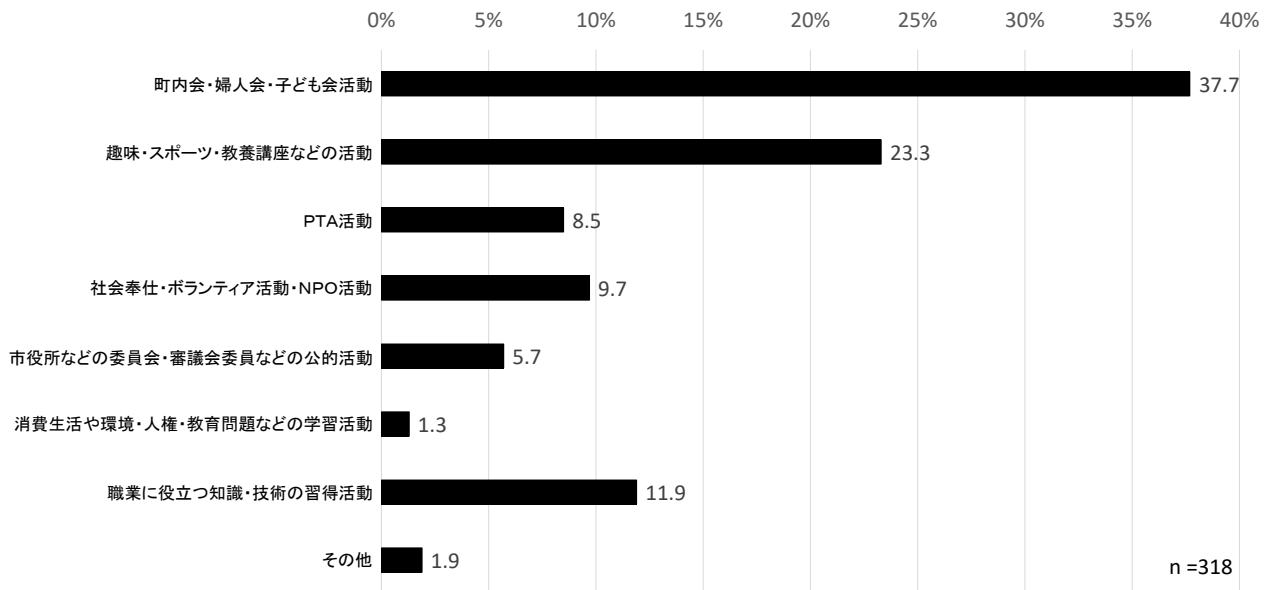
◆男女別の回答率

男性は、「賃金、昇進、昇格に差がある」が65.2%と最も高く、次いで「仕事内容や、教育訓練、配置、配属に差がある」の60.9%、「育児・介護に対する支援制度や施設が十分ではない」56.5%と続き、女性では、「家事、育児、介護などと仕事の両立が難しい」が58.3%と最も高く、次いで「賃金、昇進、昇格に差がある」57.1%、「子どもの看護や、家族の介護などで休暇を取ることに対して、周囲の理解が得られない」50.0%となっており、男性は職場や社会の環境面を問題としている回答が多いのに対し、女性は自身や周囲の環境を問題としている回答の割合が高い傾向があった。



問14: 地域活動、社会活動などの参加状況について(参加している全てに○)

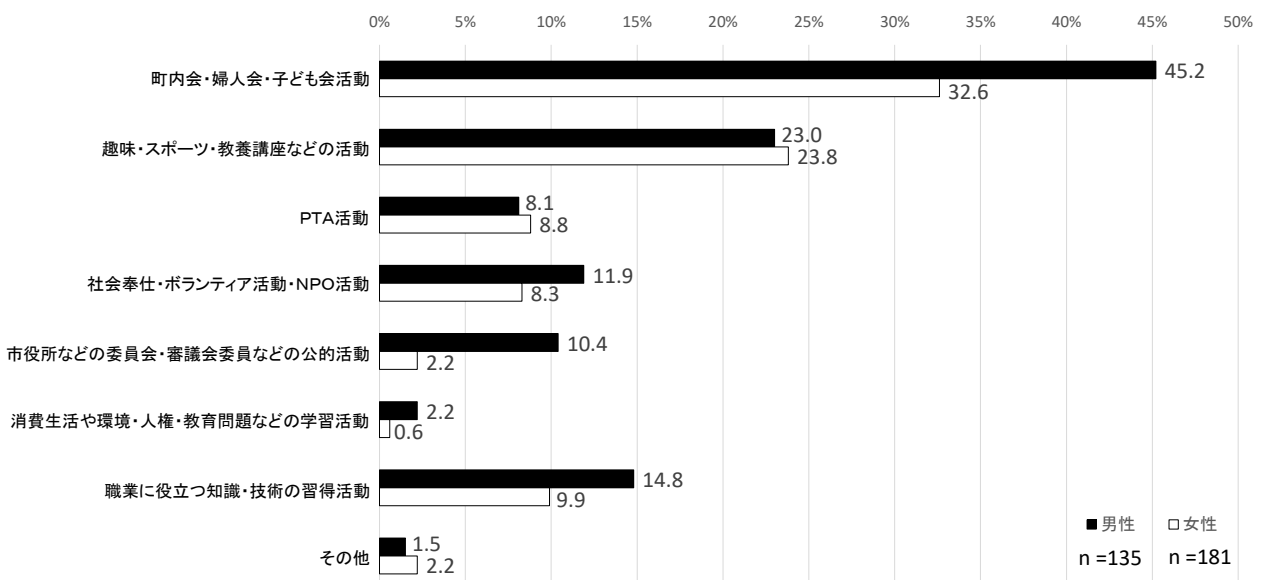
「町内会・婦人会・子ども会活動」が37.7%と最も高く、次いで「趣味・スポーツ・教養講座などの活動」23.3%、「職業に役立つ知識・技術の習得活動」11.9%と続いている。



◆男女別の回答率

「町内会・婦人会・子ども会活動」が男性45.2%、女性32.6%と最も高く、次いで「趣味・スポーツ・教養講座などの活動」で、男性23.0%、女性23.8%となっている。

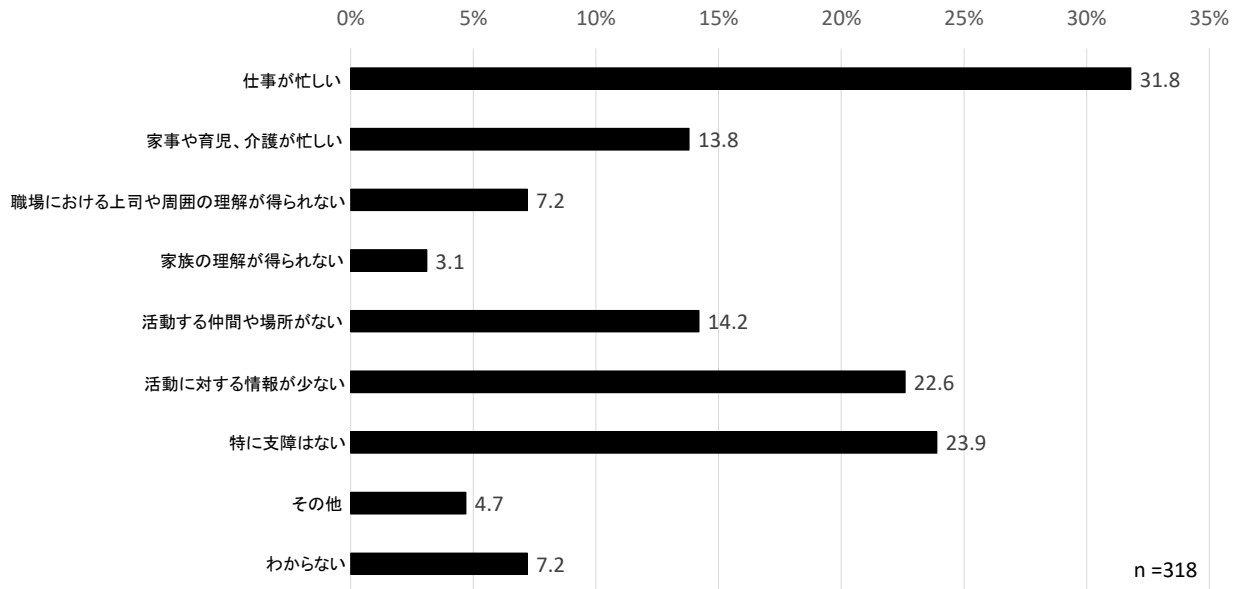
また、「市役所などの委員会・審議会委員などの公的活動」では、男性10.4%に対して女性2.2%と開きがあり、公的活動においては男女間の差が表れる結果となった。



問15: 地域活動、社会活動などに参加するうえで支障となること(該当するもの全てに○)

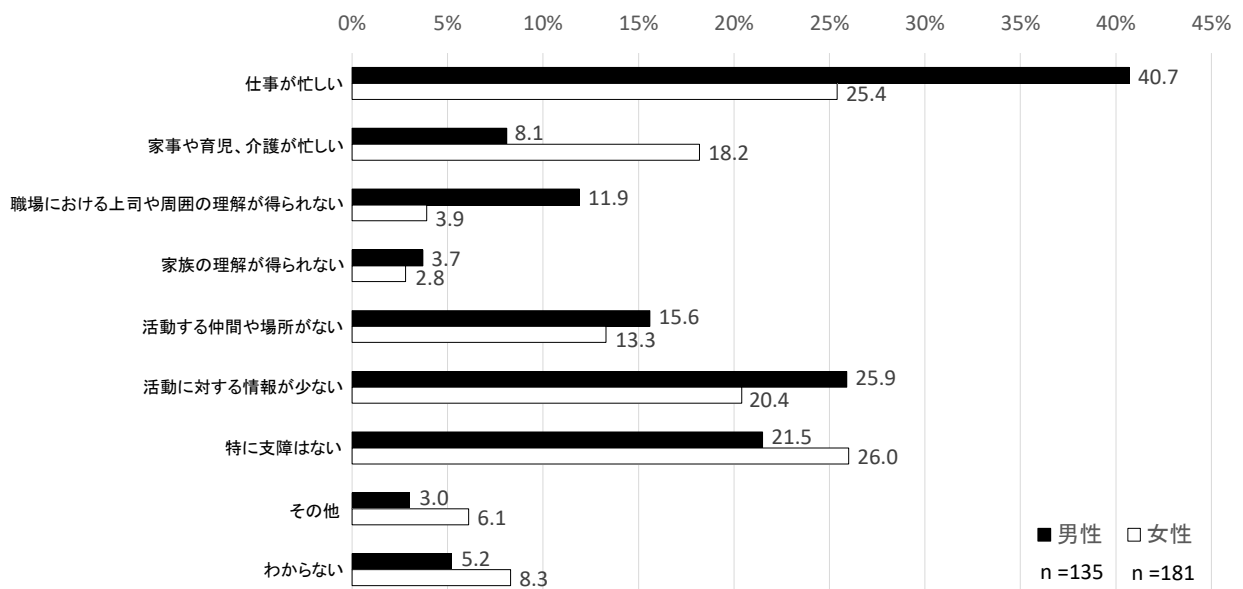
「仕事が忙しい」が31.8%と最も高く、次いで「特に支障はない」23.9%、「活動に対する情報が少ない」22.6%となっている。

「その他」では、関心がない、人付き合いが苦手、持病や障がい、費用負担の心配や、感染対策への不安などの意見があった。



◆男女別の回答率

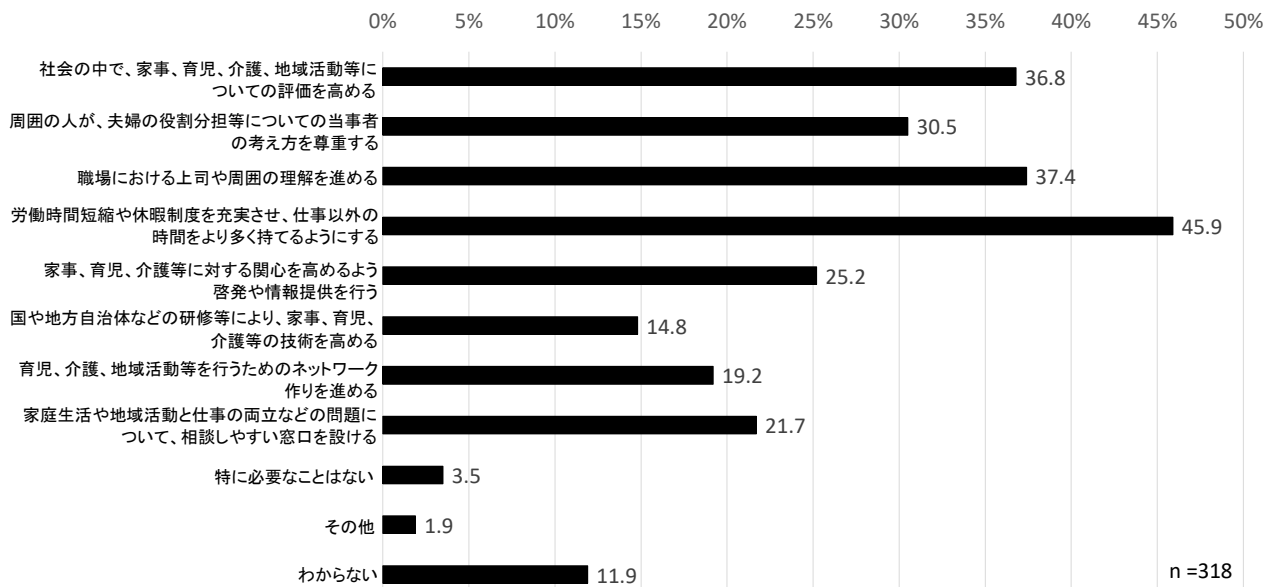
男性は、「仕事が忙しい」が40.7%と最も高く、次いで「活動に対する情報が少ない」の25.9%となっており、女性では「特に支障はない」26.0%が最も高く、次いで「仕事が忙しい」25.4%、「活動に対する情報が少ない」20.4%となっている。



問16:ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要なこと(該当するもの全てに○)

「労働時間短縮や休暇制度を充実させ、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が45.9%と最も高く、次いで「職場における上司や周囲の理解を進める」37.4%、「社会の中で、家事、育児、介護、地域活動等についての評価を高める」36.8%となっている。

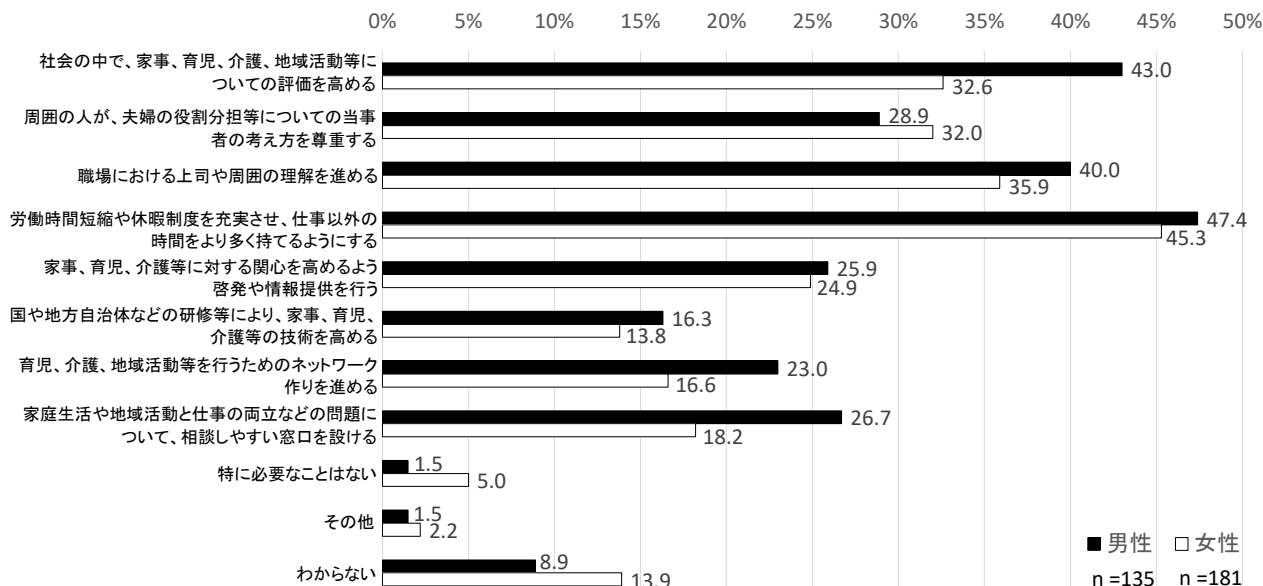
「その他」では、ファミリーサポート等の充実、年休消化、仕事の効率的な進め方が必要などの意見があった。



◆男女別の回答率

「労働時間短縮や休暇制度を充実させ、仕事以外の時間をより多く持てるようにする。」が男性47.4%、女性45.3%と最も高く、次いで男性は「社会の中で、家事、育児、介護、地域活動等についての評価を高める」の43.0%、「職場における上司や周囲の理解を深める」も40.0%となっている。

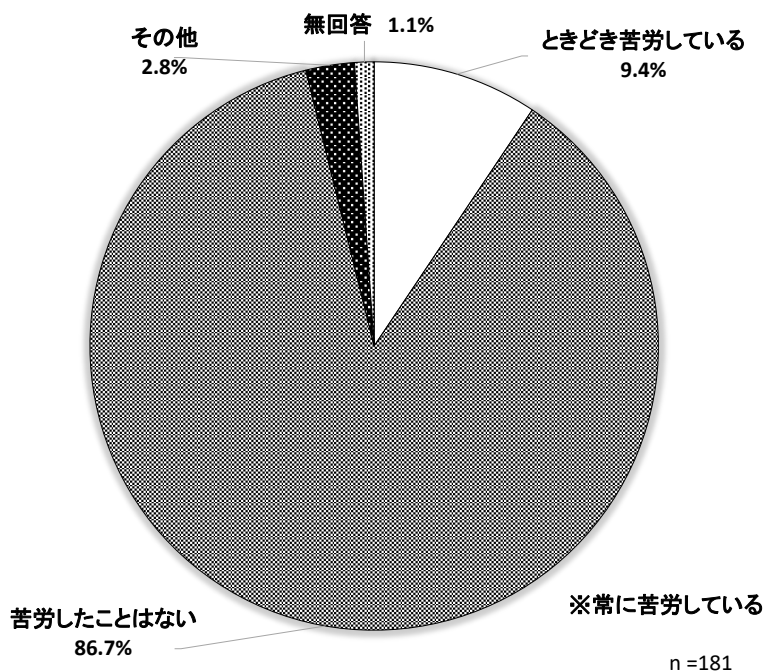
女性では「職場における上司や周囲の理解を深める」の35.9%が次いで高くなっている。



**問17: 生理用品の購入に苦労したことがあるか
(※女性のみ回答)**

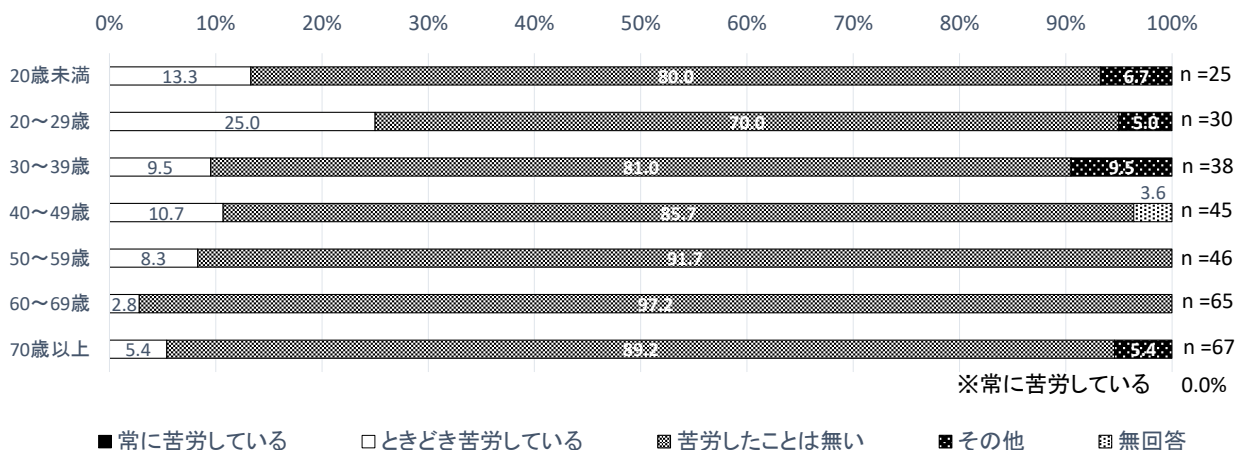
「苦労したことはない」が86.7%と最も多く、8割以上を占めており、「ときどき苦労している」は9.4%、「常に苦労している」と回答した人はいなかった。

「その他」では、安い時に大量購入する、今後苦労しないか心配、過去に苦労した、などの意見があった。



◆年代別の回答率

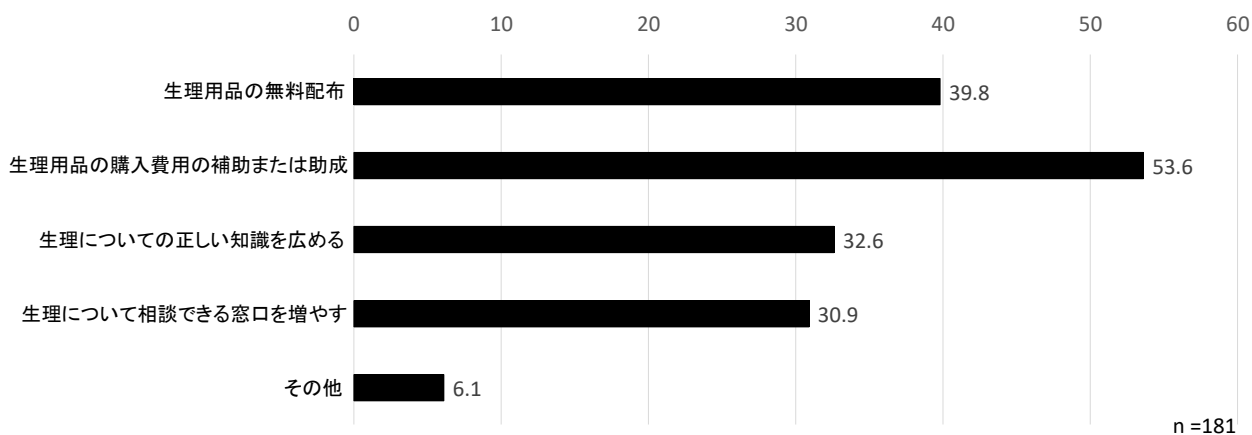
「ときどき苦労している」が最も高いのは「20～29歳」で25.0%、次いで「20歳未満」が13.3%となっており、若年層で苦労している割合が高かった。



問18:「生理の貧困」に関する支援について(該当するもの全てに○)
 (※女性のみ回答)

「生理用品の購入費用の補助または助成」が最も高く53.6%、次いで「生理用品の無料配布」で39.8%となっている。

「その他」では、税金の控除、公共施設のトイレに用品を置く、などの意見があった。

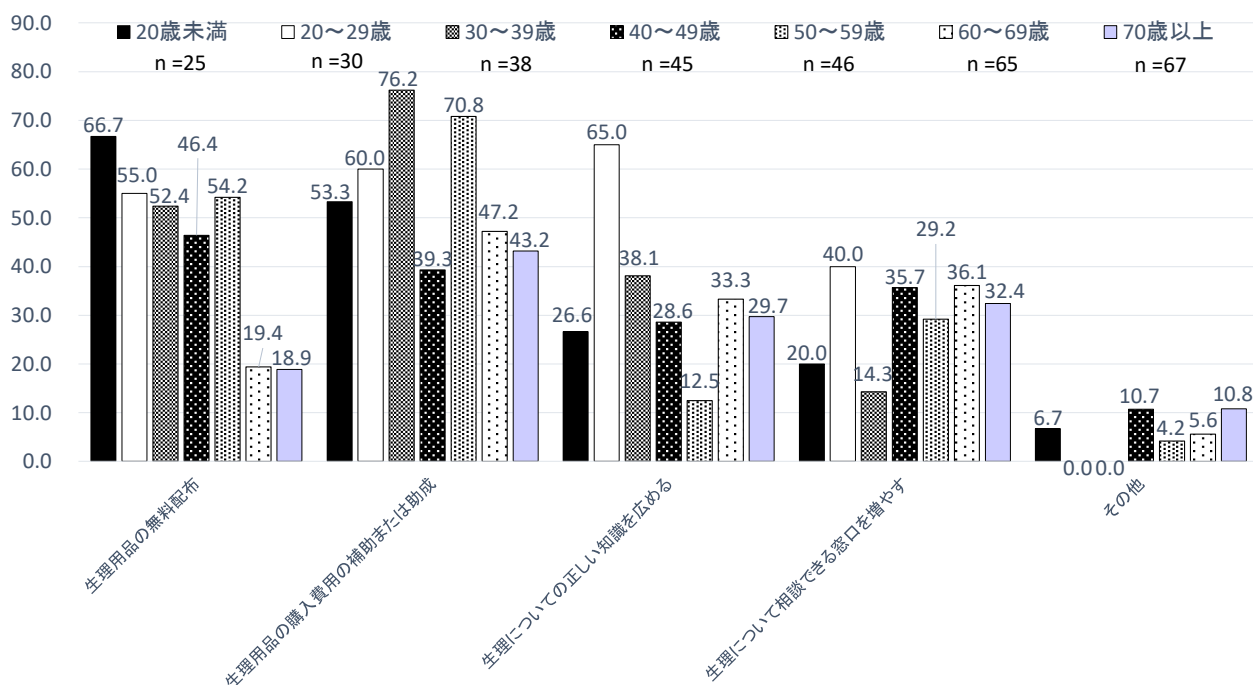


◆年代別の回答率

「生理用品の無料配布」では「20歳未満」で66.7%と最も高く、「60～69歳」19.4%、「70歳以上」18.9%と高齢層で低かった。「生理用品の購入費用の補助または助成」では「30歳～39歳」で76.2%と最も高く、次いで「50～59歳」が70.8%となっている。

また、「20歳未満」と「20～29歳」においても割合が高く、半数を超えていた。

「生理についての正しい知識を広める」では「20～29歳」で65.0%と突出して高く、「生理について相談できる窓口を増やす」についても40.0%と最も高かった。



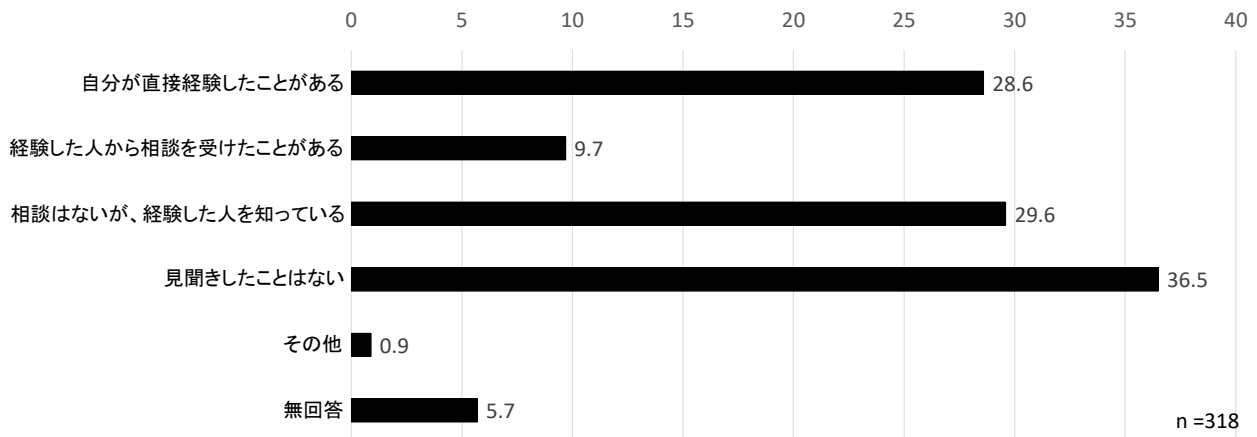
4.人権について(5項目)

問19: ハラスメント・DVの経験について(該当するもの全てに○)

①ハラスメントについて

「見聞きしたことはない」が36.5%と最も高かったが、「相談はないが、経験した人を知っている」が次いで29.6%となっており、「自分が直接経験したことがある」では28.6%と、おおよそ4分の1以上の人がハラスメントを経験しているという結果となった。

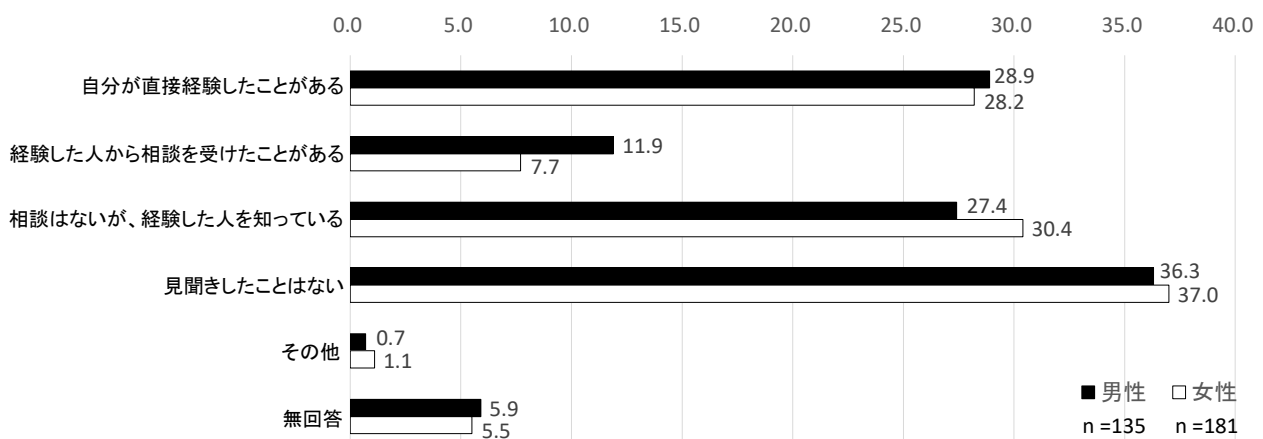
「その他」では、勤務事務所で現在も起きている、退職者が多い、との回答があった。



◆男女別の回答率

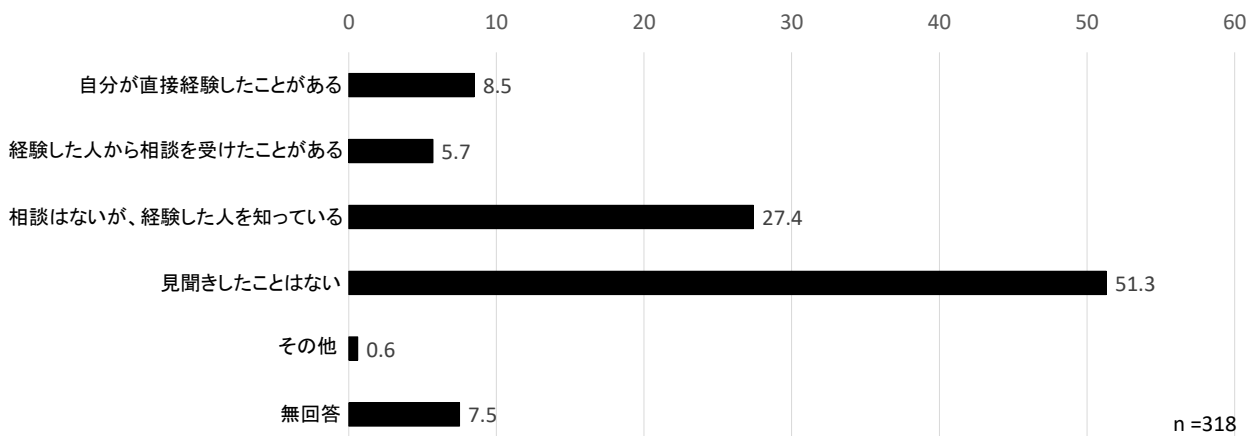
「見聞きしたことはない」は男性36.3%、女性37.0%と最も高く、また、「自分が直接経験したことがある」は男性28.9%、女性28.2%となっており、これらは男女間での差はほとんどなかった。

「相談はないが、経験した人を知っている」は男性27.4%、女性30.4%と女性の方が若干高く、反対に「経験した人から相談を受けたことがある」は男性11.9%、女性7.7%と男性の方が高くなっている。



②DVについて

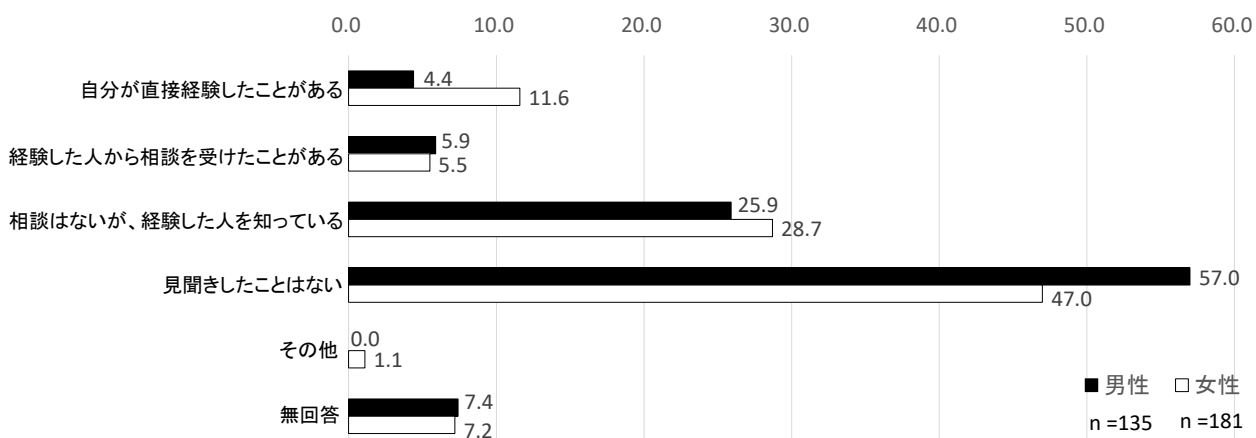
「見聞きしたことはない」が半数以上の51.3%を占めているが、「相談はないが、経験した人を知っている」27.4%、「自分が直接経験したことがある」8.5%、「経験した人から相談を受けたことがある」5.7%を合わせると41.6%で、4割以上がDVを経験したり、経験した人を知っている、という結果となった。



◆男女別の回答率

「見聞きしたことはない」は、男性57.0%、女性47.0%と男女ともに最も高く、次いで「相談はないが、経験した人を知っている」が男性25.9%、女性28.7%となっている。

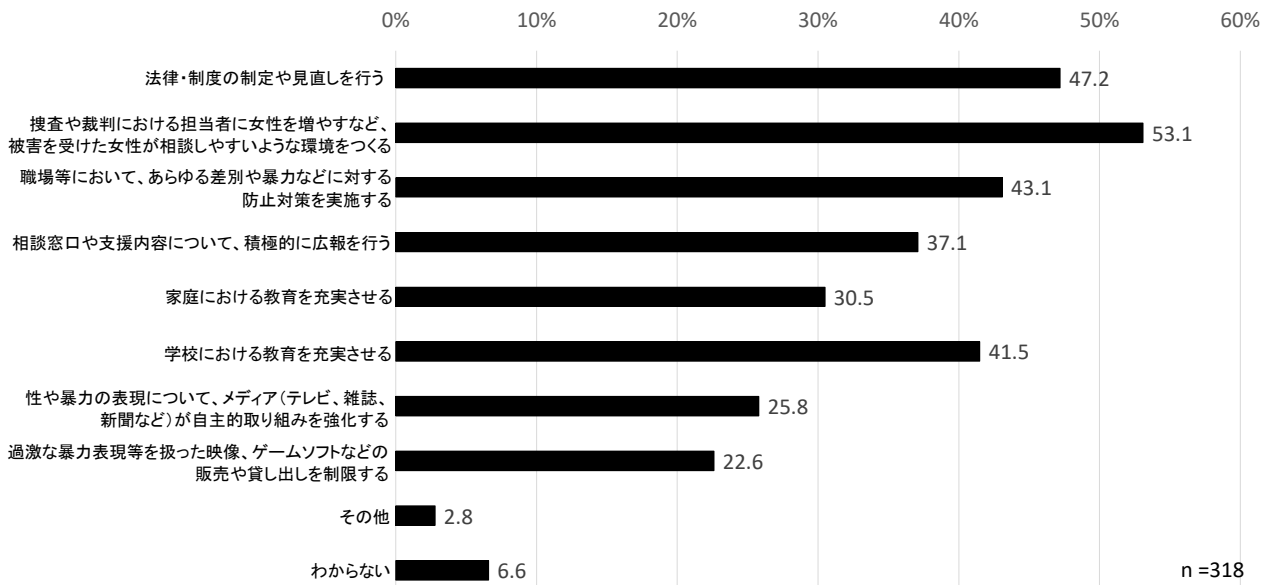
また、「自分が直接経験したことがある」は男性4.4%に対して、女性は11.6%となっており、男性の2倍以上となっている。



問20: あらゆる差別や暴力をなくすために必要なこと(該当するもの全てに○)

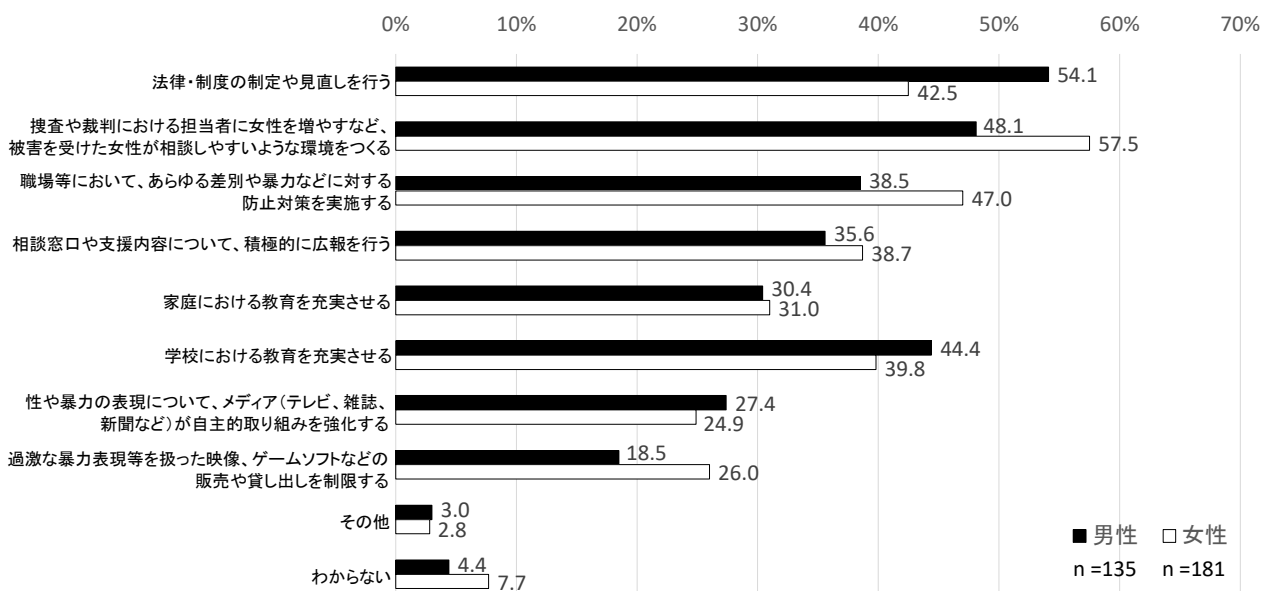
「捜査や裁判における担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が相談しやすいような環境をつくる」が53.1%と最も高く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う」47.2%、「職場等において、あらゆる差別や暴力などに対する防止対策を実施する」43.1%となっている。

「その他」では、加害者にもカウンセリングを行う、相談しやすい環境づくりは大切だが、個人としてどうするかが重要、などの意見があった。



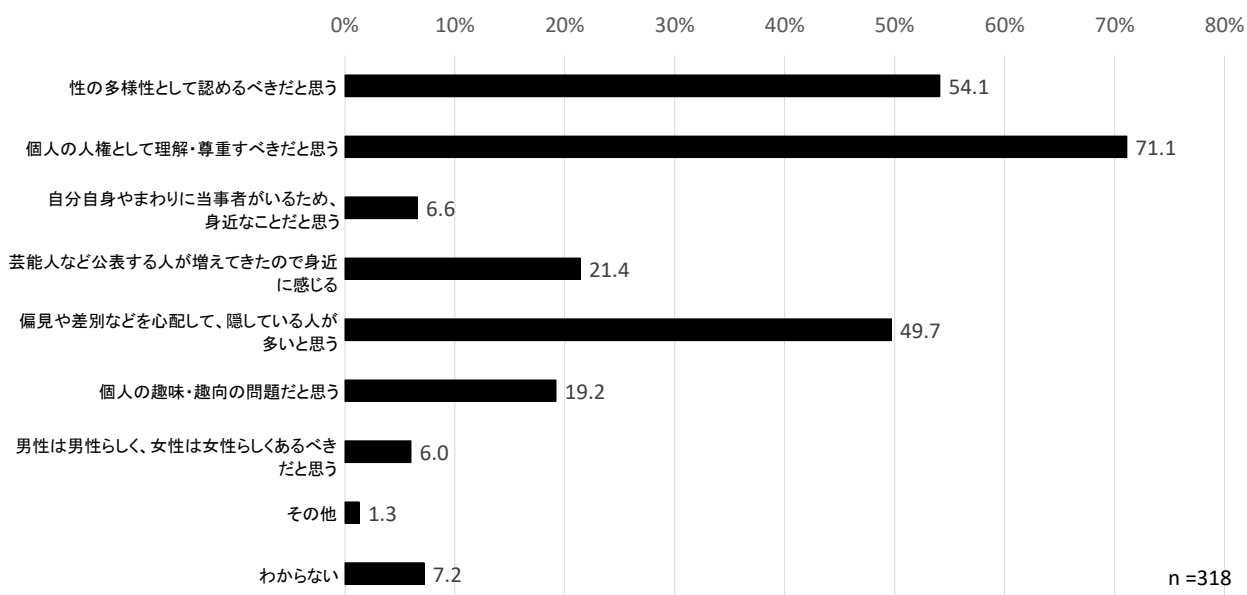
◆男女別の回答率

男性は、「法律・制度の制定や見直しを行う」が54.1%と最も高く、次いで「捜査や裁判における担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が相談しやすいような環境をつくる」の48.1%となっており、女性では「捜査や裁判における担当者に女性を増やすなど、被害を受けた女性が相談しやすいような環境をつくる」の57.5%が最も高く、次いで「職場等において、あらゆる差別や暴力などに対する防止対策を実施する」の47.0%となっている。



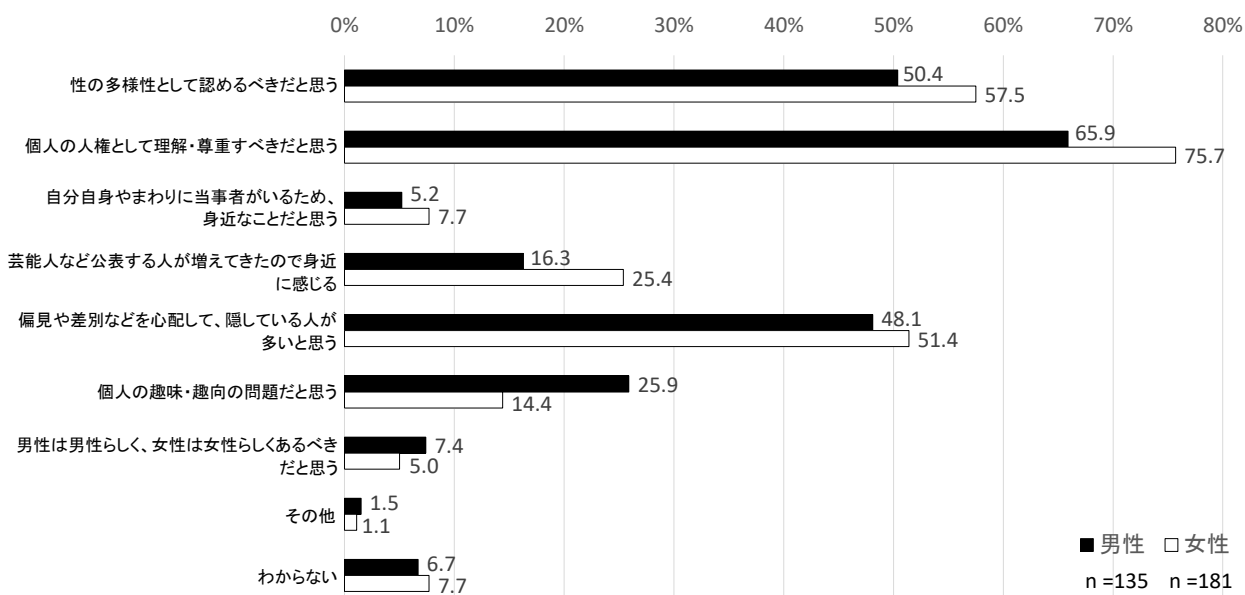
問21:LGBTQに対する考えやイメージについて(該当するもの全てに○)

「個人の人権として理解・尊重すべきだと思う」が71.1%と7割を超えて最も高く、次いで「性の多様性として認めるべきだと思う」54.1%と、こちらも半数を超えており、LGBTQに対する理解が進んでいる一方で、「個人の趣味・趣向の問題だと思う」「男性は男性らしく、女性は女性らしくあるべきだと思う」と考える人も合わせて22.2%に上っている。



◆男女別の回答率

男女とも、「個人の人権として理解・尊重すべきだと思う」が最も高く、「性の多様性として認めるべきだと思う」が次いで高くなっているが、その割合はともに女性の方が高く、「芸能人など公表する人が増えてきたので身近に感じる」でも25.4%と、どちらかというとな女性の理解がより進んでいると思われる結果となった。一方、「個人の趣味・趣向の問題だと思う」は男性が25.9%と女性の14.4%より高かった。



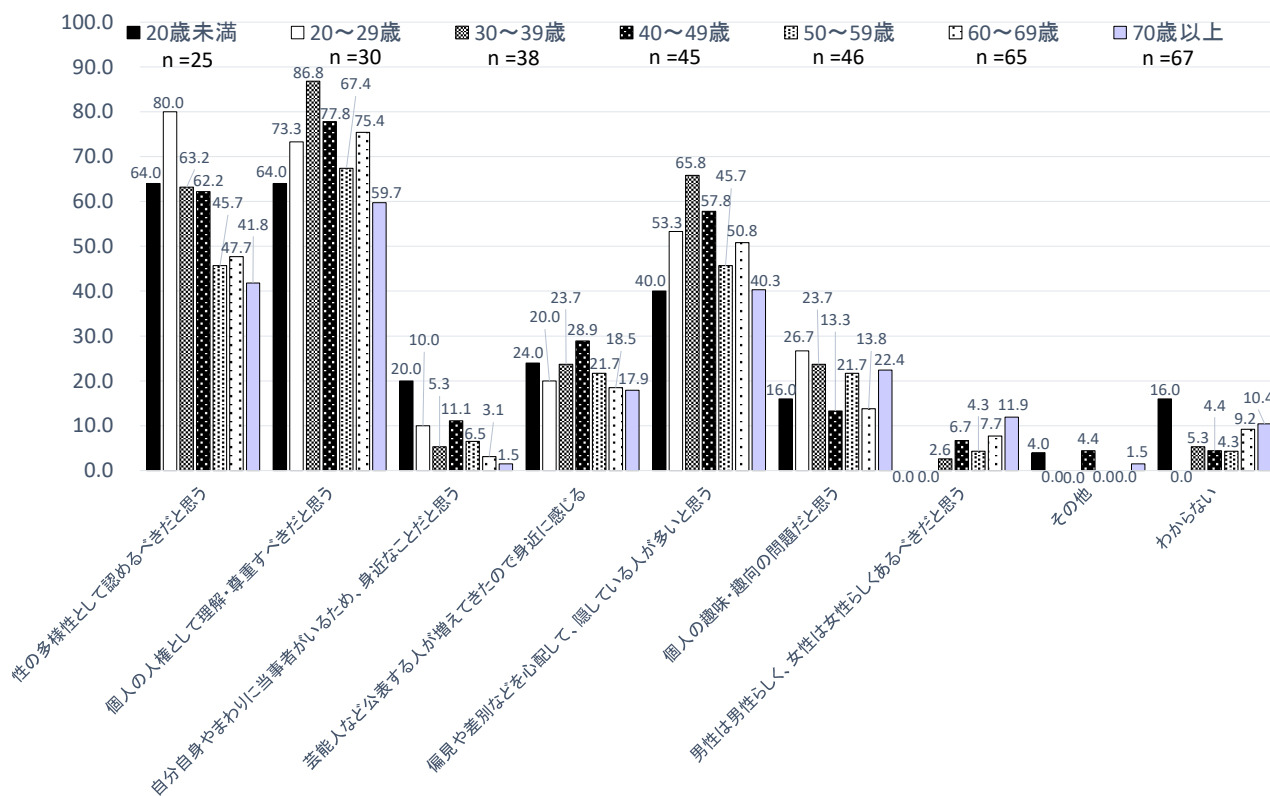
◆年代別の回答率

「性の多様性として認めるべきだと思う」では「20～29歳」で80.0%と最も高く、「個人の人権として理解・尊重すべきだと思う」は「30～39歳」の86.8%が最も高くなっている。

「自分自身や周りに当事者がいるため、身近なことだと思う」は「20歳未満」で20.0%と最も高く、また「偏見や差別などを心配して、隠している人が多いと思う」では「20歳未満」が40.0%と最も低かったことから、LGBTQが身近で、偏見や差別の対象とは感じていない人が他の年代と比べて多いと言える結果になった。

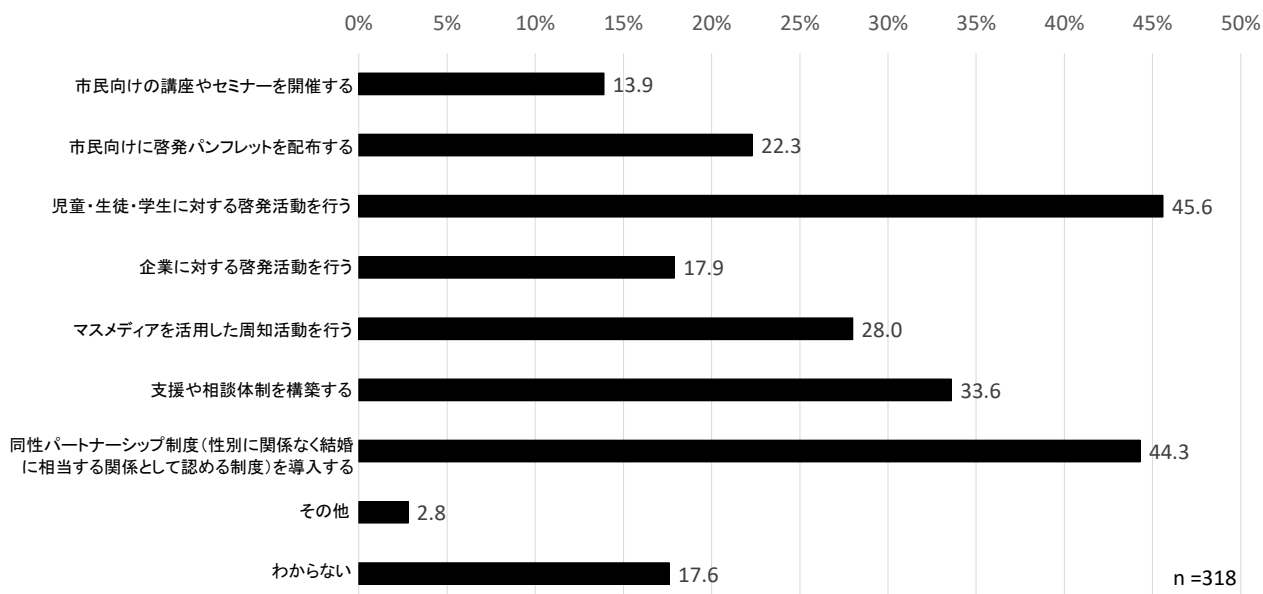
「芸能人など公表する人が増えてきたので身近に感じる」は「40～49歳」が28.9%と最多となっているが、どの年代でもそれほど差は見られなかった。

「男性は男性らしく、女性は女性らしくあるべきだと思う」は「70歳以上」が11.9%と最も高く、次いで「60～69歳」が7.7%となっているのに対して、「20歳未満」「20～29歳」では0%となっており、若い年齢層では性別に捉われない人が多いと思われる結果となった。



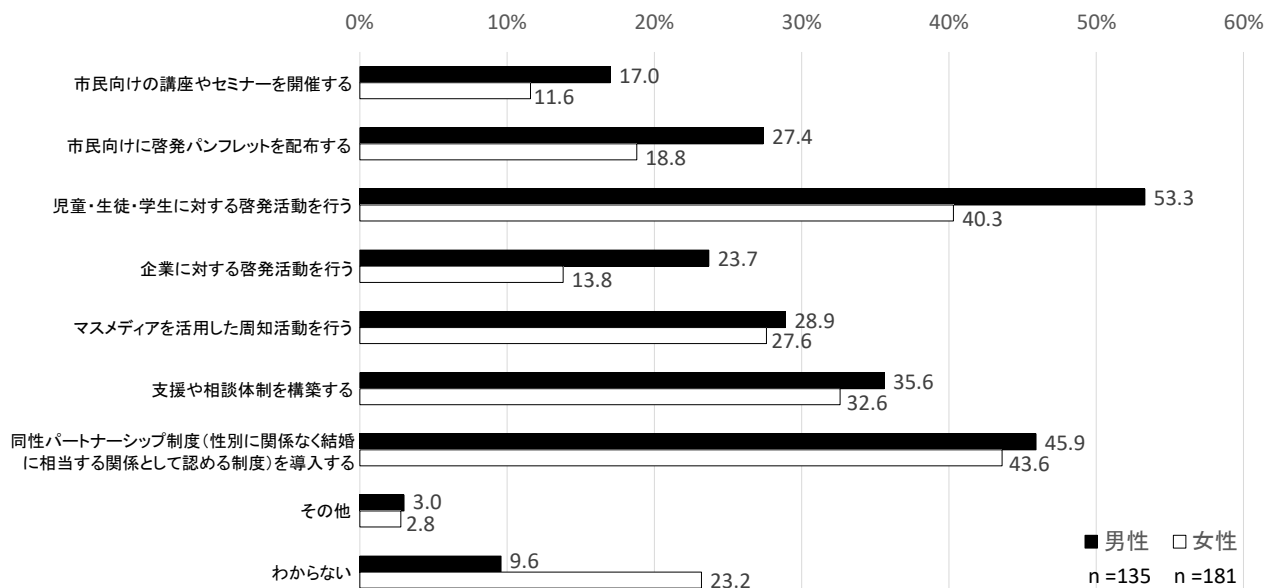
問22:LGBTQの理解をすすめるための対策について(該当するもの全てに○)

「児童・生徒・学生に対する啓発活動を行う」が45.6%と最も高く、次いで「同性パートナーシップ制度(性別に関係なく結婚に相当する関係として認める制度)を導入する」44.3%、「支援や相談体制を構築する」33.6%と続いている。



◆男女別の回答率

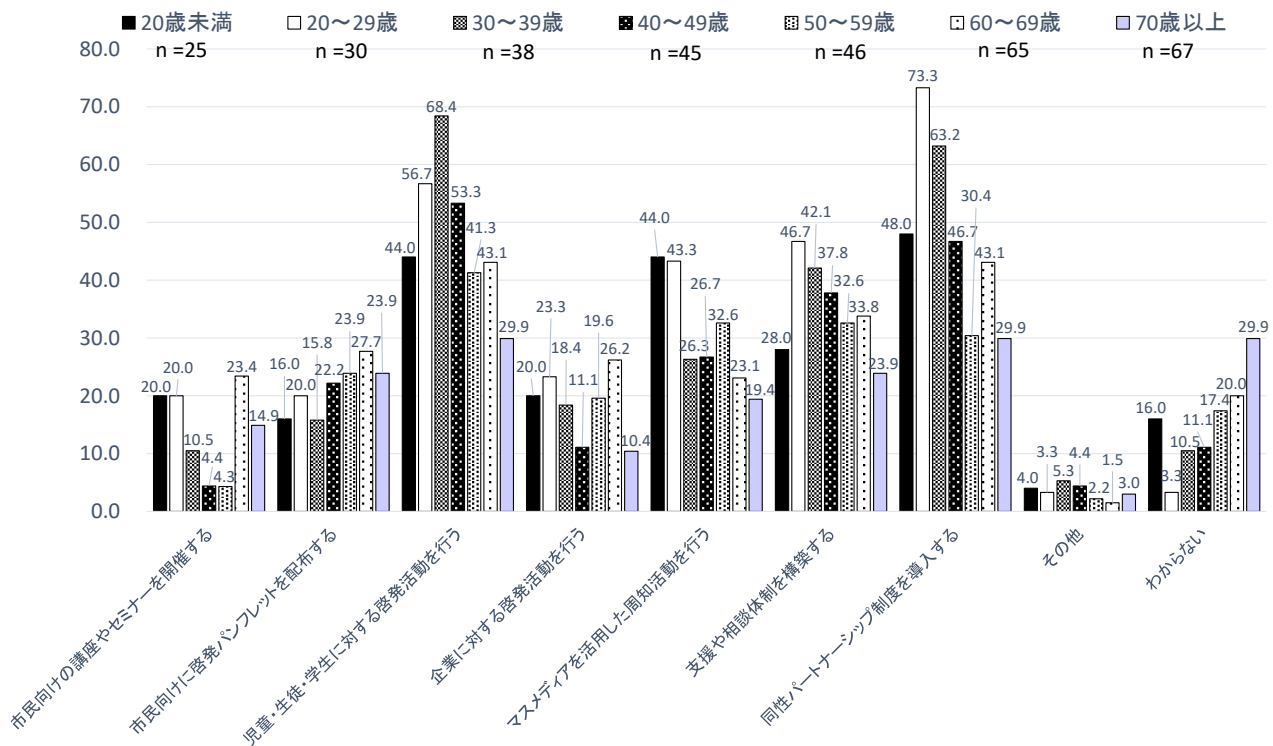
男性は、「児童・生徒・学生に対する啓発活動を行う」が53.3%と最も高く、次いで「同性パートナーシップ制度(性別に関係なく結婚に相当する関係として認める制度)を導入する」の45.9%となっており、女性では「同性パートナーシップ制度(性別に関係なく結婚に相当する関係として認める制度)を導入する」43.6%が最も高く、次いで「児童・生徒・学生に対する啓発活動を行う」40.3%となっている。



◆年代別の回答率

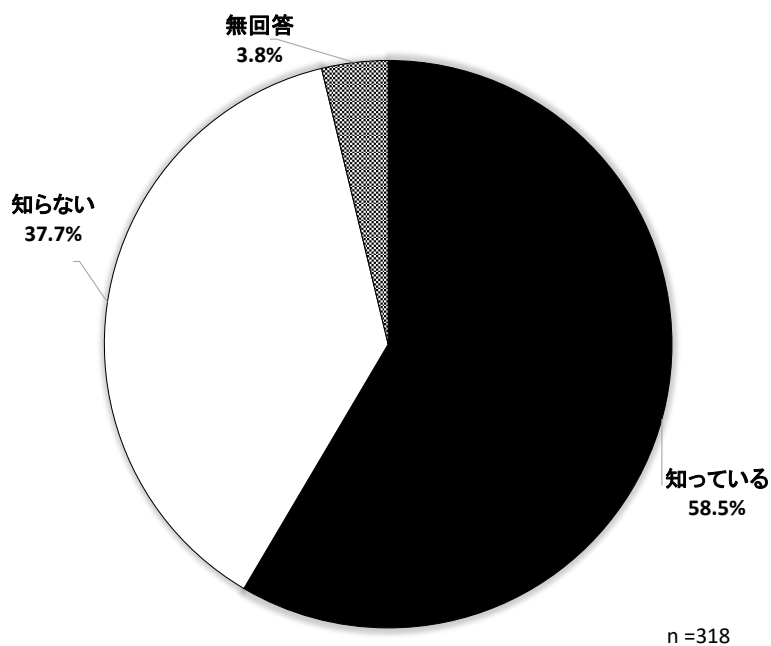
「児童・生徒・学生に対する啓発活動を行う」では「30～39歳」で68.4%と最も高く、次いで「20～29歳」の56.7%となっており、「同性パートナーシップ制度（性別に関係なく結婚に相当する関係として認める制度）を導入する」は「20～29歳」の73.3%が最も高く、「30～39歳」が63.2%と、どちらも若い世代で高くなっている。

高年齢層では「市民向けの講座やセミナーを開催する」「市民向けに啓発パンフレットを配布する」では「60～69歳」がそれぞれ23.4%、27.7%と最も高く、「70歳以上」でも14.9%、23.9%と、他の年代よりも割合が高い傾向があった。



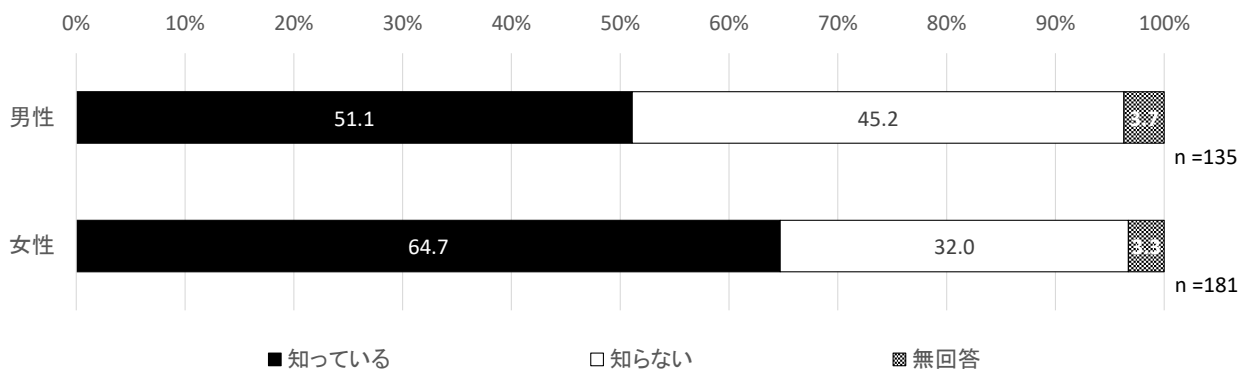
問23: 相談窓口の認知状況について

「知っている」が58.5%と最も多く、何らかの相談窓口を半数以上が認知しているが、一方で「知らない」も37.7%と4割近くが認知していないという結果となった。



◆男女別の回答率

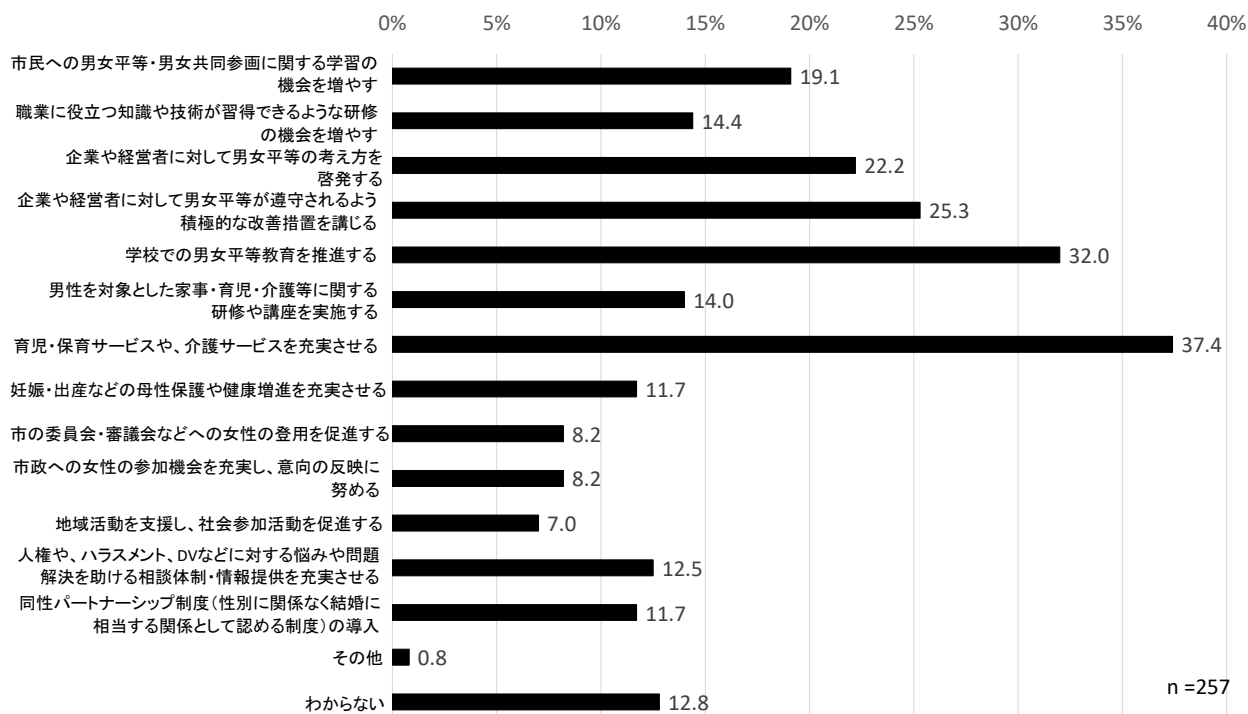
「知っている」と回答した男性は51.1%、女性は64.7%で、女性の方が何らかの相談窓口を知っている割合が高くなっている。



5.男女共同参画社会について(2項目)

問24: 男女共同参画社会をすすめるために、深川市に望むこと(3つまで〇)

「育児・保育サービスや、介護サービスを充実させる」が37.4%と最も高く、次いで「学校での男女平等教育を推進する」が32.0%、「企業や経営者に対して男女平等が遵守されるよう積極的な改善措置を講じる」が25.3%となっている。



問25: 自由回答

1	60～69歳	男性	問1で、あなたの性別を教えてください。とありますが、あなたの性別もしくは性自認を教えてください。のような設問にしてほしかったです。表現の配慮等、大変な時代ですが担当される皆様、頑張ってください！
2	70歳以上	男性	生物古来の性差を理解する事が肝要であり、その違いを知った上で男性が、女性が、どこまで入り込めるかを考えて行く事ではないでしょうか。その上で、私は「男は男らしく」「女は女らしく」が良い様に思います。
3	60～69歳	男性	性犯罪やいじめをする人々は、精神的な病を抱えているという考え方があります。罰を与え罪を償わせるだけでは解決にならない。性犯罪者の再犯率が高いという統計もそういうことを反映しているのかも知れない。必要なのは罰ではなく治療ではないのだろうか。
4	70歳以上	女性	たいして協力できませんでした。老人の方になるため、自分の趣味だけを楽しんで生活しています。
5	60～69歳	男性	深川に住んで8年経ちました。少しも魅力を感じません。年々すたれを感じます。深川の住人なら誰でも感じている事と思います。ただ声に出さないだけです。田舎人独特の特性でかっこはつけます。深川は素晴らしい所と声には出します。しかし本心は思っていないでしょう。ますます地元の人凝り固まって形は外からの人を受け入れる態度を取りますが、心は受けません。地元人は自分の縄張りを荒らされるのは困るのです。深川あたりの町は、地元の人々で生業の基盤が固まっているので変化は困るのです。いくら男女平等だ、ワーク・ライフ・バランスが必要と訴えても、かっこつけるだけです。言うだけで形をととのえて終わりです。このアンケートも形だけで終わりでしょう。アンケートを取って、さも何か行動するという態度だけで終わると思います。田舎と言う所はそういう所と思います。深川らしいです。
6	50～59歳	女性	障害になって初めて人の冷たさがわかった。市役所の人でも決まり決まりで親身になってくれない人がいる。障害になりたくてなったわけでないのに。
7	70歳以上	男性	アンケートには協力するが、無責任な考えが多い中で、この様なアンケートを求める事が無意味とと思っているので、有識者が知恵を絞り、纏め上げ、示すべきものと思います。
8	60～69歳	女性	高齢化社会の深川ですが、安いお金で良いのですが、働く場所が欲しいです。一人暮らしの老人が多くなってきます。余った時間、人との交流、体力に合った仕事があれば良いと思います。体力とボケ防止のために。
9	70歳以上	女性	非正規雇用が横行していて、本来なら正社員化すべきところ安い労働力として雇用の調整弁となって、今日のコロナ禍で増々働きづらく職を失う人も多い。 そんな中で女性のしわ寄せが多い事は十分に想像できる。 男女とも働きやすい環境をつくるうえでも本来あるべき非正規雇用を規制して安心して働ける労働環境が必要と考えます。 働く人の労働時間短縮によって、家庭におけるゆとりが生まれ、男性も女性もともに、育児・介護を担うことができる道がひらけるでしょう。 未来の若者たちが働くことに喜びを感じられる社会を、若者の声を聞き、是非進めてほしいものです。

10	40～49歳	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・子供に対する補助 ・女性やLGBTQの人を会社で多く雇ってもらうための補助金など ・外的暴力だけでなく言葉の暴力の危険性や人にもたらす影響などを学校教育などで多く教えて欲しい。
11	40～49歳	女性	<p>女性の所得の低さが男性の優越感を生み、女性を格下にみることで不平等が生まれる。</p> <p>社会において女性は男性の引き立て役との意識が強く、補助的な役割を与えられがちであり、そこで所得の格差が出る。</p> <p>女性に正当な評価を与え、一人で生活できる収入があれば、男性に頼らず差別も発生じづらくなり、人権、ハラスメント、DV等も減少するのではないか。</p> <p>とにかく賃金が低すぎます。物価が上がる一方、収入は増えず、生活するために月給はすべて無くなります。貯金をすることもできず、老後が心配です。</p>
12	60～69歳	女性	昔と今は違います。私は農業の仕事が忙しく、子供達と遊びたくても遊べなかった。
13	20～29歳	女性	<p>このアンケートを見て、女性の方だけに聞いている所がありますが、そういった所だけでも「不平等だ」と言う人がいらっしゃるのでは？と思いました。こういうのをしても、きちんと改善されるのか心配になります。</p> <p>生理用品についても、女性は子供を産むためになっているのに(なりたくて、生理が来て欲しいわけでもない)わざわざ高いお金を払って生理用品を買うのはどうなのかな？と思います。また、職場で生理痛がきても休めなかったり、生理のせいにするな、と言われたり、まずはそういう所を改善していくべきなのではないかと思います。全員が全員、生理がこないわけでも無く、生理痛により倒れる人も居るということを全員が理解するべきだと思います。人それぞれ血の量が違います。そういった所をすぐ改善していくべき。</p>
14	70歳以上	女性	難しいことはわかりませんが、人は一人では絶対に生きて行くことは出来ないの、男女とも、寄り添い合う心を忘れないで他人事とは思わずに考えながら、その時代、時期に合った生き方をしていくことと思います。
15	60～69歳	男性	アンケートの結果を活用して、良き政策を打ち出して行って下さい。
16	50～59歳	女性	<p>高齢の母が一人で暮らしています。少し認知症がある為、毎日仕事が終わってから食事を作りに行ってます。</p> <p>市よりインフルエンザやコロナのワクチンの用紙が来ても文字を読み、理解し、申し込む事はできません。又、ワクチンの接種場所へ行くにもバスを乗り換えなければ行けなく、不安です。公民館(地域の)等で行っていただければ歩いて行けるので良いと思うのですが、無理なのでしょうか。結局仕事を休み、連れて行きましたが、母の病院、ワクチン、歯科等有給もなくなります。</p> <p>もう少し地域単位で行ってほしいです。</p>
17	20歳未満	女性	質問が多すぎて見にくい。
18	60～69歳	男性	年金で女性は亡くなった場合、遺族年金が少ない。男性にはあるのに。

19	20～29歳	女性	インターネットやSNS、メディアより様々な情報を得られるようになりました。しかし全てが正しいものとは限りません。そのため教育現場での正しい知識を示すことが必要だと思います。少しでも多くの方が性に対して関心を持ち、多様性を理解し認めることができるようになればと思います。生きづらさが軽減された環境で伸び伸びと過ごすことのできる社会に、早く変化していくことを望みます。
20	70歳以上	女性	私は70代ですが、今の若い人は男女平等あるいは女性の方が強くなっているように思います。私の子供達世代は妻が強いです。
21	40～49歳	女性	若い世代というよりも、年配の世代が理解できていないと思う。(女は家事、男は仕事、どうして結婚しているのに子どもをつくらないのか、など)年配の世代への理解が必要だと思います。
22	60～69歳	女性	高校生の時、先生が(男女は平等であるが)同権異質という事を教えて下さった方がおりました。自分自身は性別に違和感がないので、残念ながら当事者の苦しみは自分の痛みとして感じる事が出来ません。ただ、介護や看護師とか保育とか、すべての男性とは言いませんが、同権【異質】の部分で向いていないと思うことは、いろいろなニュースとかの報道による犯罪で感じる事はあります。男性には母性本能がないでしょうし、女性にも名称は分かりませんが、本能的に向いていない事もあると思われます。でもそんな事を言っていると、時代にそぐわない気がしますし…どうする事が正しい事なのかはわかりませんが、何十年の前に一度だけ聞いた、同権異質…この言葉も大切なようにも思います。あくまでも、男女同権のうえで…。
23	40～49歳	男性	障がい者年金や生活保護や自動車税減免など積極的に推進すべきで、セーフガードや食品支援を深川でも積極的に増やすべきだと思います。
24	70歳以上	女性	一人一人が、女性も男性も、障害のある人も無い人も、人間として又、個人として、個性を尊重されるような社会になると良いと思う。そのためには、自分の家族、家庭など身のまわりの環境から無理のない範囲でできることから変えていくという意識を持つことが必要だと思います。
25	60～69歳	女性	・困っている事を直訴するのではなく、市の方から把握し、手を差し伸べて欲しいです。
26	30～39歳	男性	・産婦人科を誘致するための制度等整えて欲しい。 ・産婦人科以外にも眼科等、深川にない専門病院を増やしてほしいです。
27	30～39歳	男性	現実、なかなか難しい問題かと思いますが、何事もまずは取り組みの姿勢が大切かと思しますので、その一歩として動いていただいた事に感謝致します。 私が勤務しております職場でもそうですが、企業一つ一つがこういう事に理解してもらえるような環境整備が必要ですね。
28	20歳未満	女性	あまり興味がなかった。

29	60～69歳	女性	<p>どのような人々も、この世に生を受けて来たのだから、生活、教育などに心配なく生きていける社会であって欲しい。</p> <p>全ての子供達が社会の宝として本人の望む教育を受けることが出来ることが望まれる。</p> <p>十分に学びを受けて、豊かな人生を歩めることが、それらの人々によって作られる社会は、どのような性であっても互いに尊重し合い、各々の能力を开花していけると考える。</p>
30	30～39歳	男性	市内すべての企業に抜き打ちで年一回以上、労基署入れて欲しい。
31	50～59歳	男性	政治が変わらなければ、こういった変化は起きにくい。国の政治はもちろんですが、市政においてもです。
32	50～59歳	女性	<p>アパートとか、住居を建てるのも必要だと思いますが、色々な店とかが出来、みなさんが働ける場所を作ると良いと思います。</p> <p>コロナで収入とかが減り、おまけに色々とも何でも高い時代に…。各家庭に商品券とかの配布等、サービスがあれば良いと思います。</p>
33	70歳以上	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画は今後ともさらに推進して欲しい。 ・ハラスメント、DVは犯罪です。処罰が軽い。江差のパワハラ事件なんて加害者が再採用されるそうだし、おかしいでしょう。もっと厳罰にすべきで、被害者が泣き寝入りしたり、逃げまわったりすることのないように。 ・男女平等については、適材適所とも思うが、表面的な比率も大事なのかも思う。
34	50～59歳	男性	男女平等などは当然のこと。女性のことだけ改善するのではかえって不平等。不満がある。
35	30～39歳	女性	<p>男性の育休取得や、LGBTQについて、比較的若い世代は身近な関心事として捉えていると思います。ですが、私(30代)の親世代(50代)以上にとっては「男が育休なんて」「同性を好きになるなんて…」と思う人が多いのかなと思います。(この考え自体が偏見かも知れませんが)</p> <p>自分がマジョリティであってもマイノリティであっても、様々な人がいる、と多様性を理解し合える社会になると良いなと思います。</p> <p>その理解のためには、教育の場で早い段階から、正しい知識と「男女」だけに捉われない社会であることを学ぶことができれば良いと思います。</p>
36	70歳以上	男性	<p>女性だというだけで優位性があるなら逆差別と思う。</p> <p>本当の意味の性差別及びその歴史を知らず、単なるお題目としての男女共同参画を唱える女性、議員などはむしろ害悪だと思う。</p> <p>例えば平塚らいてう、市川房江氏、これら先人の歴史も闘いも評価しえない連中が男女共同参画など語るのには片腹痛いし、お笑い草だ。</p> <p>知性も教養もない人間は人権など知らないし、語れない、男女問わずである。</p>
37	20～29歳	男性	<p>「性に関してオープンです」というまちづくりを前面に出して市をアピールすることが日本、北海道にとって良いと考える。</p> <p>特に優れたものがない深川市はこういう時代の最先端に立つて行うことが市の活性化につながると考える。</p>

38	30～39歳	女性	<p>我が家は夫婦共働き、小学生1人、保育園児2人います。ここ数年で子育てについて、色々改善されてきたことを感じ感謝しています。もし、まだ要望を聞いてくれるのではと思い期待をこめて書いてみます。</p> <p>保育園については、保育士さんの待遇が良くなれば、もっと私達にも返ってくるものがあるのかなと感じます。例えば土曜日にあずけたい時は、週の始めの方までにあずける時間や何であずけるのか毎週書かないといけません。夫は土日関係なく、休みの予定も前日にわかる状況です。私も夜勤のある仕事です。土曜日はなるべく仕事休みなら保育園休ませてほしいと言われています。シフト上は休みでも、夜中3時に帰宅することがあったり、次の日の0時から仕事で寝たいと思う時もシフト上休みだからと休ませていただきます。(体力限界の時はお願いしますが)締め切りがすでに過ぎていて、限界でも当日は無理です。毎週記入する手間、書き忘れて締め切り過ぎた時の絶望感があります。今コロナで食材を買いに行くのもマスクのできない2人を連れては抵抗があり、かといって置いていける歳でもないので大変です。</p> <p>3歳未満2人通っているの、私の仕事が16時までですが、(残業・研修などあり定時に帰れないことも多い)お迎えが17時を過ぎる時は電話をほしいと言われています。仕事状況で電話すらできない状況もあります。仕事が定時に終わっても買い物していたら17時過ぎるので行けません。3歳未満2人なので、うちのお迎えが遅いと保育士さんも残らないといけないので、その確認だとは思いますが。それが毎日となると大変です。保育士さんの人数も確保され、余裕があるとこの手間は少ないのかなと…。保育園18時までで電話をすれば快くあずかってくれている状況なので感謝はしています。でもきっと保育士さん足りていないんだろうなという印象です。コロナ前は大量の荷物(布団や着がえ、オムツなど)は親が定位置に毎朝セットしていましたが、今は玄関にその荷物を置き、あとは保育士さんが全部やってくれます。(親がは入れないので)帰りも同様です。コロナで業務が増えているのを感じています。保育士さんをぜひ余裕のある仕事をさせてあげてください。そうすると私達市民の手間や負担も減ると信じています。どうかご検討お願いします。保育士を増やすは理想ですが、保育業務以外(おもちゃの消毒や、親が持ってきた荷物を仕分ける)などは免許が無くてもできると思います。そういう業務を事務員さんにも協力してもらおうとか、色々やり方はあると思います。コロナでどれくらい業務が増えたか、人員に対して園児は適切でも業務が莫大に増えているなら、人員に対しての園児数も見直さないといけないかも知れません。もうコロナ3年です。この先もどうなるか…。</p>
39	20歳未満	男性	<p>仕事や職場によって何をして欲しいかも変わって来るし、深川の現状もわからないのに何が必要かを聞かれても困る。面倒なのはわかるけど、資料等、アンケートと一緒に入れるべきだと思う。それをやる気がないなら職場ごとでやるべきではないかと思う。そういったことをしないと聞きたいことも答えてくれないし、惰性で続けているなら時間の無駄だからやめるべきだと思う。</p>
40	60～69歳	男性	<p>子供に対するDVの後、いまだに同居できない家族がいる。いろいろ事情や規則があるのは理解するが、ばらばらの子供達がかわいそうに思える。DVを受けていても親子は親子。子供にとっては親は一人しかいない。他の町だがケアが少ないように思う。</p>
41	70歳以上	女性	<p>老人なのでこのアンケートは無理です。もっと若い人に一人でも多くアンケートを取って下さい。</p>

42	30～39歳	男性	働き先がなく、高卒後深川市を離れるパターンが何年も続いているので、遊んでいる土地(特に音江地区)に企業誘致をしてもらいたい。市内企業、道企業では限界があると思う。 市民がどんどん居なくなるのに、立派な役所を建ててどーすんの？って思う。
43	50～59歳	女性	出来れば結果を広報紙等で知らせてほしいです。
44	50～59歳	男性	まず、男女平等意識ですが、自分の中では昔に比べると男女格差は少しずつ減っているとは思いますが、政治の世界はもちろんですが、自分の職場でも、男女のパートで時給が200円の差があったりと、まだこの日本ではあちこちで男女格差が見受けられます・・・。 特に政治に関しては、昔気質の老年男性の政治家がハバを利かせ続けている限りは、政治の世界において女性の活躍がなかなか進んでいかないのかなと思います。そしてそれが全ての分野に波及しているのかと思います。(経済、文化、スポーツなど全て)難しい事だとは思いますが、政治を始めとして、色々な分野を司る頭のカたい人たちの意識改革がまず必要だと思います。そしてそれを成し遂げてくれる新しい強いリーダーの出現を切に期待しています。 次に「ワーク・ライフ・バランス」についてですが・・・自分は独身で、かつ人付き合いが少ないので、このテーマについてはあまり多く語れないのですが・・・アンケートの問12に②と記入しましたが・・・確かに昔と比べれば女性の働ける環境が多少整ってきたかと思いますが、それでも社会全体の中ではまだまだ発展途上だと思います。女性の場合、結婚、妊娠、出産など仕事を続ける事に際し、障害となるケースも多々ありますが、企業の努力だけでは限界だと思うので、やはり社会全体で、もっと働きやすくなるシステムの構築を急ぐべきだと思います。 最後に人権についてですが、「性的少数者」に関しては、理解にはまだまだもう少し時間がかかるとは思いますが、同性パートナーシップ制度の様に、社会の理解が少しずつでも進んでいったら良いなと思います。 パワハラ、DVについては、思い出すのも嫌ですが、自分も昔勤めていた職場で幾度も経験があるので、法改正も含めて、メディアでももっと取り上げて真剣に社会問題として、この世から無くなるように努めて欲しいと強く思います。
45	40～49歳	男性	市政における委員会・審議会の委嘱委員の年齢構成及び男女比を検討すべきではないでしょうか。団体・職場の役職等で先行するなどを少なくすべきではないでしょうか。働く現役世代の声をもっと聞いていただきたい。次の10年・20年には、今、30代・40代の声を聞いていただきたい。そのような場を設けていただきたい。
46	70歳以上	男性	男女共同参画社会の実現には、まだまだ時間がかかりそうであると思いますが、少しずつでも実現に向けた努力をしていく事が肝要なのだと思います。まずは女性の参入率を明確に定めるのはどうでしょうか。参入率20%からスタートしたとして、最終的に50%にもっていく事には如何ですか。
47	30～39歳	女性	税金は上手く活用して下さい。
48	20歳未満	女性	まだ学生で社会に出たことがないのでわからないことがほとんどでしたが、学生という視点で考えたところ、中学生などの制服を男女兼用にできるようにする、などという計画があればいいかなと思いました。

49	20歳未満	女性	男女平等が長く言われていることで、今は女性がだいぶ優遇される社会だと思います。逆に女性が優遇されすぎて男性が肩身の狭い思いをしていることが増えてきているように思います。
50	30～39歳	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所で有休の消化が出来ていない課があると聞いた。他企業の講習をする前に、有休をもっと取りやすい環境づくりが必要だと思う。 ・何に対しても案内状が遅い。アンケート内にも記入したが、仕事をしている人の状況等を考えていないと思った。土日開催ならまだしも、平日に開催するのであれば職場の調整もあり、家族の調整もある。(〇カ月健診、入学式、通学バスの案内等) ・市役所のほぼ全課、不愛想で不親切。昼休みを利用して行った時に、とてもイヤな顔をされた。
51	30～39歳	女性	性に関してはとても配慮の必要なことと考える。性別について1問目で答えたが、LGBTについて市で推進するのであれば、アンケートの性別も特になくてよいのではないかと。
52	70歳以上	男性	男女平等はもっとも大事なことだと思います。しいては障がい者をはじめ、色々な人の平等、相手を思いやり助け合いの精神になるものと思います。世界の中では議員が男50%女50%でなければ認められない国があると聞きました。二つの考え方が混じり合って国を動かすことが出来る良い政治だと思います。相手の立場になれる平和、思いやり、支え合い、子供達にも老人の人にも楽しい日本、ガンばれる日本に発展します様に。みんな子供達はたくましく成長し、全ての人々が強く優しく逞しく生きられるよう、助け合って強く強く生きていきたいですね。国政の皆さん、姿勢の皆さん、よろしくお願ひ致します。お世話になります。
53	60～69歳	女性	<p>昨年の東京オリ・パラに向けて準備が進められていく過程において、森元首相の発言から、私自身、考える機会が増え、夫婦間で話す内容もあります。そのひとつですが、選挙投票に関して、男女区別の項目が必要なのか…と疑問を持ちます。トランスジェンダーの方々が、容姿や服装、他で、選挙会場へ行く積極性が失われる可能性も有り得るのでは…と考えます。また、投票集計に男女別の必要性は有るのでしょうか？</p> <p>かなり以前の話ですが、TBS番組の「金八先生」で、トランスジェンダーを扱ったシリーズがあり、私は真剣にのめりこんで見ていた記憶があります。あのような性指導というのか、保健指導というのか、学校教育の場で取り組むことは大切だと思いますし、子供達がどこかでそのような事例に相対する場面があったとしても、温かく適応できるような準備は必要なご時世だと思います。</p>